

# KGA

'05春季号  
2005年6月1日発行



## 目次

第57回 関東ゴルフ連盟通常総会	
健全なゴルフの普及発展に全力投球	1
インタビュー／野口正三 競技委員長	
競技委員の自覚とレベルアップをめざして	4
特別対談(1)東京都・新潟県	
1都10県の加盟俱楽部の活動状況を聞く	6
春季ジュニア・スクール	
少年よ、野に出て遊べ	17

新規加盟俱楽部紹介	21
総会・理事会・分科委員会議事録	23
月例競技成績表	39
お知らせ	40

表紙Photo KGA春季ジュニア・ゴルフスクール  
青梅ゴルフ俱楽部（撮影・増田 收/KGA広報委員）

 関東ゴルフ連盟

総会

第57回 関東ゴルフ連盟通常総会

健全なゴルフの普及発展に

全力投球

文・伊室一義（KGA広報副委員長） 写真・塚越克一（KGA広報委員）、増田 收（KGA広報委員）



第57回通常総会（於 ホテルニューオータニ）

関東ゴルフ連盟第57回通常総会は、平成17年2月22日（火）午前10時、ホテルニューオータニ「麗の間」において開催された。定刻午前10時に議長団（吉田理事長、牛込、小宮山、普勝各副理事長）が登壇。冒頭吉田理事長から次のような本年度活動方針が示された。

### 平成17年度活動方針

一般景気は昨年度緩やかな回復をしたもの力強さに欠けており、平成17年度は資源高やデジタル景気の変調などもあり、その動向については注視を怠れない状況が続くものと考えられます。

一方ゴルフ界では、昨年度はゴルフ場の法的整理が前年に引き続き高水準で推移し、入場者の回復もマダラ模様となるなど厳しい状況が続きました。新年度についても好転材料に乏しく、楽觀は

許されないものと認識しております。

さて、このような状況の下、昨年度の関東ゴルフ連盟の活動を振り返りますと、競技活性化の指標とも言うべき競技参加者数は順調に増加し、連盟収支につきましても相応の計数を確保することが出来ました。ご尽力を賜りました各位に対しまして、心から敬意を表しますと共に、今後とも一層のご協力をお願いする次第であります。

ところで、関東ゴルフ連盟の使命は、規約にもありますように健全なゴルフの普及発展を図ることであります。これが、連盟活動の原点であります。この使命を踏まえまして、いくつかの点を申し上げたいと思います。

### 活性化へ3つの課題

#### 1. 競技の活性化

関東アマチュア選手権を初めとして、関東ゴル

フ連盟が主催する競技に参加するのは、技量、マナー共に他の模範となるべき存在のゴルファーであります。それだけに競技運営につきましては、従来にもまして競技者が実力を十分に發揮出来るよう適正な運営を図りたいと考えております。また、競技会場を増設し、多数のゴルファーの参加を奨励して競技を盛り上げたいと思います。さらに、関東アマチュアなど多数の競技参加者が予想される競技については、実力のある選手を遗漏なく選抜するため、第2次予選（仮称）を設けることにつき、具体的な検討を進めて参りたいと考えております。このように質量の両面から競技のより一層の活性化を図る所存であります。

## 2. JGAハンディキャップ制度の普及

ご高承の通り、財日本ゴルフ協会により昨年度ハンディキャップ規定が改定され、本年度より実施されることになりました。また、女子ハンディキャップについても本年度より、公式競技適用となりました。当連盟と致しましても、これに対応し、J-sysのシステムを再構築しました。Web方式という形で機能の拡大を図り、年初より稼働入りさせていけるところであります。ハンディキャップがゴルフの実力を正しく表示し、ゴルファーの向上心を刺激する機能を持つことは言うまでもありません。トップアマだけでなく、アベレージゴルファーの活性化のためにも、ハンディキャップを取得するよう奨励し、J-sysの活用を更に進め



活動方針を示す吉田理事長

たいと思います。加盟俱楽部に置かれましてもこの点についてご留意、ご協力をお願いする次第であります。

## 3. ジュニアゴルファーの育成

ゴルフの活性化を長期的な視点に立って考えますと、ジュニアゴルファーの育成が最重要課題の一つであることは申すまでもありません。財日本ゴルフ協会を始めとする各団体の連合により、NPO「日本ジュニアゴルファー育成協議会」が結成さ



活動方針に熱心に耳を傾ける俱楽部代表者のみなさん



通常総会後、パーティでの交歓風景

れ、各種の活動を展開しております。関東ゴルフ連盟と致しましても、少子化など逆風はありますか、底辺拡大と上級者のレベルアップのため、スクールの開催や、競技実施についてこれを更に充実していくことを考えております。加盟俱楽部におかれましても、ジュニアがゴルフに触れる機会を増やすべく、コースの一部開放など、地域毎の振興策について積極的に関与し、ご協力して頂くようお願い致します。

## ■ 議案審議の状況

議長は活動方針説明後、議案の審議に入った。

- 第1号議案は「平成16年度事業報告並びに一般会計・特別会計決算の承認を求める件」

議長の指示により、事務局より一般・特別両会計の決算報告の後、近藤監事の監査報告がなされ、原案通り承認可決された。

- 第2号議案は「平成17年度事業計画、ならびに一般会計・特別会計予算案の承認を求める件」

議長の指示により、事務局より一般会計・特別会計の予算案について詳細な説明がなされ、原案通り承認可決された。

- 第3号議案は「理事及び監事全員任期満了につき改選の件」

理事及び監事全員任期満了につき、新たに理事及び監事候補者の氏名が議長より報告され、この

件につき出席者に意見を求めたところ全員異議なく原案通り承認可決された。

この後議事は一旦休憩に入り、新理事による理事会を開催、全員一致により理事長に吉田友明氏が再選され、再開後の総会において報告された。

(なお、通常総会後開催された理事会に於いて、副理事長に小宮山義孝、竹田恆正氏の両氏が選任された。)

## ■ 報告事項

「財日本ゴルフ協会の組織改革に関する件」と「財日本ゴルフ協会平成16年度事業報告および決算報告、ならびに平成17年度事業計画及び予算に関する件」は、議長の指示により、事務局より報告を行った。

- その他の

次の質問と意見が出され、理事長及び担当委員長より回答がなされた。

- ①新ハンディキャップの内容と運用をわかりやすく説明してほしい。
- ②学識者・有識者による補佐的な組織を作つはどうか。
- ③KGAはもっと国際貢献すべきである。たとえばスマトラ沖地震募金など。

以上で総会の議事を終了、議長より退任された理事に謝意が述べられ、11時30分閉会を宣言した。

## インタビュー／野口正三 競技委員長

# 競技委員の自覚とレベルアップをめざす

インタビュー・西澤 忠(KGA広報委員)

2005～06年度の競技委員長に就かれた野口氏は  
すでにJGAの競技委員長でもあるので兼任。  
新年度の活動方針について新機軸を打ち出したので、経緯を訊いた。

## ■基本理念に自覚と自信

——まず、今年度の活動方針で、新機軸とは？

野口 これは以前にも実行していたことですが、競技の効率的で正しい運営を徹底するために、競技委員会を3つの地域別と、それとは別に女性班の4班に分けました。

1班が千葉・茨城・栃木、2班は東京・埼玉・群馬・新潟、3班に神奈川・静岡・山梨・長野とし、各班ごとに同一の認識のもとで班内地域での予選実施と都県連との連携を強化していただきたいと考えます。

なにしろ、自然の中で行なうスポーツですから、天候条件でなにが起こるか分からぬ。どんな事態に遭遇しても適正な競技運営を行なう必要があるので、普段からのコミュニケーションが重要と思うので、連絡を密にとりやすい方

にしたのです。すでに、この班ごとに会合を開いたりしたと聞いており、嬉しく思っています。

——効率的で正しい運営には委員個人の自覚も大切だと。

野口 委員としての自覚と自信、それに誇りをもって公平・公正な競技運営にあたる、これが基本の理念ですから。

それにはルール・運営のオーソリティに各委員



野口正三 競技委員長

がなってもらいたい。そこで初めて委員としての自覚や自信が生まれるので。“選ばれた者”としてプライドをもって欲しいのです。

とはいっても、最初から運営のオーソリティにはなれない。機会あるごとに情報交換をし、競技者に信頼される知識の習得に努めてもらいたいのです。それには班毎のミーティングなどが役立つはずです。

——俱楽部から選ばれて新しく競技委員になられた人にも良いことでは？

野口 これまでの状況をみても、新規に委員となって来る人の中には半分名誉職の気分でいることも事実です。名前だけで実行がともなわない委員は要らないのです。



西澤忠 広報委員

野口 委員としての自覚と自信、それに誇りをもって公平・公正な競技運営にあたる、これが基本の理念ですから。

経験から生まれる慣れも必要でしょうが、早くアクティブに動ける委員を育成していくことが重要だと思いますね。ルールを知り、運営の方法を身につけた委員が数多くいれば、公平・公正な競技が運営され、すみやかに終わるはずです。正しいルールのもとで“すばやく終わる”がモットーですから。モットーというよりも“使命”というべきですね。できるだけ短時間に競技を終了させるのが使命です。

## ■自分のプレー時間に关心を

——しかし、最近の競技ゴルファーは技術レベルが高度になったことに比例してプレーの遅延も問題では？

野口 このスロープレー問題は世界的傾向です。どんなプライベートコンペでも公式競技でもスロープレーヤーはかならず数人いるもので、大きな問題です。

いちばん困るのはその本人が遅いことを自覚していないこと。「自分よりあいつが遅い」とばかりに責任転嫁する。

JGAの主催競技では時間管理を実施して、警告・計測・罰打のシステムを取り入れていますが、KGAの競技ではそこまでやっていません。いずれそこまでやるようになるかもしれません。

ただ、プレー時間に関してはコースセッティングとも関係するはずで、競技者のレベルと開催コースの内容などとリンクする問題だと思います。

参加競技者の技量がハイレベルになれば、セッティングもタフになって、それなりの技量を引き出す必要がある。しかし、KGAの一大イベントである関東アマチュアゴルフ選手権でも、まだ日本オープンなどのセッティングではないので、運営の仕方したいでスムーズな競技終了を迎えるとを考えます。

競技に出る選手はぜひ一度、自分のプレー時間に关心をもってもらい、他人に比べて遅くないか確認してほしい。一人のスロープレーは同伴競技者ばかりか競技全体の公正・公平にも関係するため、

“他者への思いやり”に留意してほしいものです。

## ■JGAの決定に従う“高反発”

——日本オープンのコースセッティングが4日間でバーブレーの優勝スコアを目標とするなら、関東アマではどれくらいが目標ですか？

野口 まあ開催コースによりますが、1日1アンダー、4日間で4アンダーくらいがゲーム内容として密度の高いゲームになると思います。

開催コース側にはあまり大きな数字のアンダーを望まない傾向がありますが、4～5アンダーの優勝争いくらいが、勝者も敗者も納得のいくゲームだったと満足できるはずです。

——ピンの位置に関しては？

野口 最近の世界的傾向ではグリーンエッジから4m以下のあるところもあるようですが、KGAでは5m以下には切らないようにセットしたいと思っております。また俱楽部対抗競技は俱楽部同士の懇親も目的のひとつですし、プレーも遅くなるのでそこまでやりません。

——さて最後に、R&AとUSGAの決定に則って、JGAも来年度から高反発ドライバーの規制が始まりますが、KGAは？

野口 まだ正式に発表していませんが、基本的にJGAの決定に従う方針です。

ただし、関東アンダーハンディキャップ選手権と関東俱楽部対抗は除きます。

——関東俱楽部対抗といえば、年々出場俱楽部が増えて、県によって予選通過の枠にバラツキが出てきた。この問題は？

野口 この競技は選手権と違いますから、運営しやすいように変えていいのですが、地域によるバラツキは仕方ないと思います。

参加数の多い千葉・埼玉・茨城・栃木を現在2会場に分けています。他の選手権競技と違って1日競技ですから、天候次第で時間が足りなくなる恐れもあって、将来的にはさらに予選会場を増やす県も出てくるかもしれません。ただいま検討中です。



## ■特別対談 加盟倶楽部の活動状況を聞く

### 第1回 東京都・新潟県

インタビュアー・高橋正孝 (KGA広報委員長)

（カット・山縣和彦）

KGAではかねてより都県単位のゴルフ振興活動を活発にし、またゴルファーにも関わってくる競技の活性化や税金等の引き下げ活動を推進することをお願いしております。このために都県単位でゴルフ競技団体やゴルフ関連団体をまき込んだ連盟形成をして、助成金を提供しております。このたび活動の定着状況や進展状況を取材し、「都県のKGA加盟倶楽部の活動状況を聞く」シリーズとして本誌に掲載することを企画しました。それ活動の中での特徴や特色がお知らせできればと思います。まず第1回は東京都の森川幸美常務理事及び新潟県の齋藤文志郎常務理事にお話をうかがいました。

#### 《東京都》 変革は東京都から 森川幸美常務理事に聞く

##### はじめに

高橋 昨年末に「KGAニュース」に関するアンケートを実施しました。その中で都県関連の記事を取り上げてほしいという希望が多くありました。これまで競技観戦の記事が中心でしたので、今号より都県活動状況を連載することにいたしました。

森川 固定資産税や利用税に関する東京都独自の取り組みを中心に話を進めたいと思います。

高橋 そういうユニークな点をお聞かせいただければありがたいと思います。

##### 東京都の現況

高橋 では早速お話をうかがわせていただきます。東京都の場合には最大のゴルフ人口を抱えていて、KGAの加盟倶楽部数は14ですね。

森川 はい。14倶楽部です。KGAに加盟していない倶楽部を加えると18倶楽部あります。

近年の入場者数を見ますと、13年4月～14年3月が93万名。14年4月～15年3月が90万名。15年4月～16年3月の入場者数が91万4,000名でした。各ゴ

ルフ場の1日平均約150名入っていますから、これ以上増えるということはないと思います。16年度はまだ集計されていませんが、昨年の10月は台風の影響が出ており、16年4月～本年1月までは76万5千名です。15年度のこの時期と比べると1万5,000名ぐらいい減っています。しかし、プレーヤー数が多いということもあって、来場者数にあまり大きな変動がないことが特徴といえますね。

高橋 キャバシティに見合った情勢ですね。では、プレー料金はどんな推移になっていますか。

森川 プレー料金は下がっていますけれども、他県と比べますと多少高いですね。

高橋 ある一定のレベルを維持していくながらということですね。

森川 ただ埼玉県の私の経営している鴻巣あたりと比べるとそう差はない。高橋さんの日高カントリークラブも、東京都の倶楽部とあまり変わらないのではないかと思います。距離的な問題とプレーヤー数が多いために、他県に比較してプレー料金の下落幅は小さくある程度の来場者は確保できるということですね。

##### 他のゴルフ競技団体との協調状況

森川 東京都ゴルフ連盟は、いわゆるアマチュア団体ですが、東京都ゴルフ場協会が中心となり連盟を設立しました。当初ゴルフ場協会が資金を提供して、小宮山義孝さんとか私が入っていましたが、でき上がってひとり立ちしてきたので我々は抜けています。ただ、東京都ゴルフ連盟が主催あるいは主管の競技に対し、ゴルフ場協会が会場提供と割安な利用料金の提示をしています。それから、区市町村体協加盟団体の主催競技に対しては、そこの区市町村にあるゴルフ場、例えば八王子だったら私どものGMG八王子ゴルフ場とか、八王子カントリークラブ、相武カントリー倶楽部、武藏野ゴルフクラブが協力しています。もちろん値段的にも安くする。

高橋 区市町村の競技団体は、現時点でトータル

幾つぐらいになりますか。

森川 今、26団体あり、東京都ゴルフ連盟に加盟しています。

高橋 そうしますと、例えば国体の選手を選出する場合には、区市町村団体でまず予選競技を開催しているのでしょうか。

森川 はい、その通りです。

高橋 これだけの数の区市町村団体があり、多くの競技を開催するには、会場を確保することが問題になってくるのではないかでしょうか。例えば一部競技を近県で開催することなどはあるのでしょうか。

森川 かつては他県でやっていましたが、現在は区市町村対抗などいろいろな競技も含め、東京都ゴルフ場協会が全部引き受けています。

高橋 そうしますと、だいぶゴルフ場も日程的な犠牲は払われているのですか。

森川 そうですね。結局KGA加盟14倶楽部に非加盟を加え18倶楽部でそれを割り振らなくてはいけない。研修会も割り振らなければならない。そうすると結構な競技数になりますよね。倶楽部数は少ないので、協会としての活動にきわめて協力的です。東京都の特徴はまとまりの良さが挙げられると思います。

##### ゴルファー育成事業 レディス、シニア、ジュニア

高橋 東京都のジュニア育成の取り組みを教えてください。

森川 各倶楽部でジュニア育成をやっています。ただ、経営形態により、なかなか許可をとるのが難しいというコースもあります。私が経営する各コースでは、プロが無料でジュニアを指導しています。



ただ問題は、子供の自立を妨げてしまうような親がけっこう多いんですよね。親は自分の子供は別格なんだという態度だから、子供もそのつもりになってしまう。私はその感覚を今変えさせるように努力をしているところです。

高橋 それは結構なことですね。

森川 マナーが悪いジュニアや、一般的なエチケットも知らないジュニアが出て来ますからね。この辺をもっと教育しなくてはならないと思います。

あとは各俱楽部が、KGAの方針に基づいてジュニア育成をそれぞれ独自にやっていますね。

高橋 俱楽部独自におやりになる場合、ゴルフ場の所在する地元の市町村に声をかけますと、ある程度の人数は集まるし、地元も最近は協力してくれるようになりましたね。

森川 そうですね。私は、親がゴルフをやらない子

供達にできるだけクラブを握らせたいのです。それでスナッグゴルフとか、スクランブルゴルフなどを去年からスタートしています。そういう子供達がスナッグゴルフをやりましたら、おもしろいと熱中して、2回目は友達を連れてきました。ちょっとレベルが上のクラスはスクランブルゴルフにしてコースを回らせたのです。

このスクランブルゴルフは、ジュニアだけでなくゴルフをやったことのない父母や、あるいはOLゴルファーの開拓に効果が出てくるのではないかと思っています。これはKGAというより、むしろNGK（日本ゴルフ場事業協会）の仕事かもしれません。

高橋 親がゴルフをやらない子供達を中心といふのは、非常に結構な事だと思います。白紙のところに、レッスンやマナーなどをいろいろ話すと



入っていきやすいし、親も子供から聞けば、興味が出ると思うんですよね。

さて、レディスゴルファーについてうかがいます。今一般的には、来場者の中に占めるレディスゴルファーの比率が12~13%ぐらいですよね。

森川 そうですね。

高橋 女性の数は人口比率ではもっと多いはずなので、もう少し増加させたいとどなたもお考えになっていると思いますが、レディスへの働きかけ

も各俱楽部でなさっているのですか。

森川 東京都では女性の俱楽部対抗を開催しています。これはすでにメンバーになっている女性が集まってやっているので、レディスゴルファーを大幅に普及するということにはならないのです。

あるOLさんが言いましたが、「いつも練習場でレッスンを受けてい

るので、そろそろお友達とゴルフ場に行きたいと思いゴルフ場に電話をしてみたのです。ところが紹介者が必要だと、難しくて。そうしたら友達がインターネットでゴルフ場のスタートをとってくれました。このように、時代は変わりつつあり、インターネット予約がゴルファーの幅を広げるきっかけになるかもしれません。

ただ、インターネット予約ですと、ゴルフ場でのマナーやエチケットが心配ですし、メンバーからはいろいろな文句も出ますよね。しかし私どもの経営するゴルフ場では、若手プレーヤーが多く来るコースでインターネットの受け付けを始めました。最近ではメンバーからの予約件数より、多く感じるほど伸びてきていますよ。

高橋 そうですか。やはり世代がどんどん変わって来ますしね。今の20代が30代になり、今の60代

が70代になると、ターゲットジェネレーションを下げていかないと、ゴルフ人口は減ってしまいますからね。

森川 外資系の方々とインターネット予約などについて話していると、「メンバーから文句が出るからといって、文句が出ることがつらいですか、あるいはゴルフ場がつぶれることがつらいですか、どちらですか」「なぜやらないのですか」ということを彼らは言うわけです。我々にとっては難しい問題ですが、インターネット予約については取り入れる時期に来たと思います。

高橋 そうですね。私どもではホームページを作成しましたが、書き込みは問題が起きたため、チャッティングはしていません。予約は従来からあるシステムです。そうなるとホームページの魅力が薄れてしまいますよね。

森川 難しいですね。

高橋 私自身も、自分の子供と話していますと、新しい物をどんどん取り入れていかなきゃいかんという気にはなりますよ。でもゴルフ場の理事会に話すと先に進まない。

森川 ゴルフ人口の断層を作らせないためにも、また、レディスゴルファーの幅を広げるためにも、どこまでゴルフ場がインターネット予約を受け入れられるかということが課題だと思います。

### ●●● 東京都の独自の取り組み

森川 次は、ゴルフ場利用税についての活動を紹介したいと思います。東京都の利用税決定基準ですが、①利用料金 ②規模、ホール数とホールの平均距離 ③芝生の状況 ④地形その他の状況の4つの項目でした。

これに対して、東京都の主税局と誰が芝生の状況や地形について判断するのかなど、やり取りをしてきました。そこで新たな決定基準として、①ホール数 ②利用料金、の2つの項目になりました。

高橋 そうですか、それはシンプルですね。課税基準が明確になり、少しでも負担が軽減されれば、ゴルファーにとってはプラス要素ですね。

森川 もう一つは固定資産税の問題です。東京のあるゴルフ場に土地を貸している地主の話ですが、ゴルフ場に貸している土地と、



同じレベルの土地を二つ所有していました。両方を子供が相続した結果、ゴルフ場の土地は相続税がべらぼうに高く、一方の何にでも使えるいい土地は相続税がとても安かったのです。これはおかしいとして、この地主が告訴をしました。裁判の結果、ゴルフ場用地が、その安い土地と同じ評価まで下がったのです。

「これはおかしい」ということを裁判に訴えることも正当な評価を得るための1つの方策だと思います。

東京都ゴルフ場協会では、ゴルフ場の「固定資産税適正化に関する陳情書」を各ゴルフ場から3年ごとの評価替え時に、市長あるいは町長に提出してきました。今まで陳情書に対する返事もなかったのですが、17年になって回答書が私あてに来るようになったのです。ゴルフ場の固定資産税がいかに高いかということを各市町村は認識しているわけです。地価の下落により税額の上昇は止まっており、今後は下がる傾向ではないかと期待しています。これは固定資産税の高い県では考えられるべきではないかと思います。

高橋 埼玉県でも結構固定資産税が高い部類に入りますし、神奈川県でも同じです。あるゴルフ場の固定資産税の評価倍率を、地方自治体が簡単に決めてしまうようなシステムをゴルフ場は問題にしていかなければならぬですね。

森川 評価倍率については区市町村に対してゴルフ場協会でまとめて「おかしい」とぶつけるわけです。例えばA市とB市とは、同じゴルフ場でど

うして違うのかというようなことです。今では、総務省通達に基づいて決定していることだから受け付けませんというのが回答でした。

高橋 私どものゴルフ場でも、評価額が下がったのに評価倍率を変えられて同じ税額が出てくるのです。

森川 ゴルフ場利用税も、固定資産税も矛盾点が多い税制です。その矛盾点を洗い出し見直しを要求しています。

高橋 この2つの事例は既成事実の見直しを迫る、非常に画期的なことですね。

森川 画期的なことだと思います。東京都の支配人会はよく東京都庁に通いました。総務省にも塩をまかれるぐらい行っています(笑)。やっぱり支配人会が一生懸命やったことが実ってきたなと思っております。

また、河川ゴルフ場の河川占有料も大きな問題です。東京都、埼玉県北部、千葉県などは、同じ河川敷を使っており、都心から同じぐらいの距離のところなのに料金がまったく違う。各都道府県の河川占有料決定基準がまちまちです。それを今、協会として一生懸命働きかけています。河川敷は何としても残したいですかね。

高橋 先ほどのジュニア達も、ある程度できるようにならうと、河川敷に行くと比較的手軽にできますしね。ゴルフの大衆化には絶対に必要です。是非頑張ってください。

### ●●● KGAに望む

高橋 KGAから助成金が出ていますね。活動資金の一部にしかにはならないと思いますが、今後の都県プロジェクトに関してのご希望はあります



か。KGAとして財源が限られていますから資金的な面は難しいと思いますが。

森川 KGAから東京都ゴルフ連盟に助成金をいただき、その一部を東京都ゴルフ場協会の活動資金にしています。ゴルフ場協会では、東京での国体開催に備えまして、その支援だけでは足りませんので、やっとゼロから1,400万円～1,500万円を積み立てました。支配人会や役員会を会費制にしてコツコツと積み立てています。埼玉県では利用税還付金の一部が払い戻されていますね。

高橋 事務連絡協議会に対して払い戻されています。

森川 東京都の場合はありませんので、このように会費を高くし経費をカットして積み立てているわけです。ゴルフ場協会の活動費用は極めて限られていますから、KGA加盟俱楽部の年会費で成り立っている助成金は、減額前の金額に戻してもらいたいという強い要望があります。

高橋 確かに、都県に対する助成金は1つのKGAとしての姿勢でもありますから減額されたのは納得がいかないですね。

森川 特別委員会の提案により理事会で決定されたことだと思いますが、私が入院中に、減額を決定しちゃったんですよ(笑)。退院してから東京都の支配人会に、「森川会長は自分で空に向かってつば吐いたようなものですね」なんて言われちゃって(笑)。

高橋 来年また見直しの時期が来ますが。先日の常務理事会にて、年会費についてはあと2年ぐらい現状を継続してもらいたいという森川さんのご意見に私も同感です。助成金に関してはもともに戻すべきで、これは姿勢の問題ですよね。

森川 KGA役員の選任について希望したいことが

あるのですが、各地区とも、もっとアクティブで実務のできる方を出して頂きたいと思います。何かというと支配人会に任せてしまうなら、支配人の代表のような方が役員に選任され、時流に合ったスピードのある取り組みがなされることも良いのではないかでしょうか。

### ●●● 結び

高橋 利用税と固定資産税については関係者には非常に参考になる部分があると思います。埼玉県秩父で、ゴルフ場用地の中の山林の切り離しは成功しました。県知事から県内全市町村に指令は出しましたという返事を後でもらいました。

森川 東京都も多少問題はありますが、ほとんど切り離しは済みました。

高橋 最近は神奈川県でも同じ動きが出てきました。やはりどこかで1つの先例がつくられるといいですね。

本日はご多忙のところ貴重な時間をいただきありがとうございました。ただいまうかがったいろいろな活動の成果が上がれば、ゴルファーへのフィードバックも期待されますし、一層各種のゴルフ振興活動にもはずみがつきます。

どうか今後とも先導的な立場で活動を推進されますことを東京都にお願いしたいと思います。

が、新潟県の現状をお聞かせ願います。

齋藤 中越地震で直接被害を受けたのは中越地区的ゴルフ場がほとんどです。進入道路が崩壊してクラブハウスまで行けないとか、クラブハウスの天井が落ちたとか、コースが崩れて2～3ホール使えなくなったりなど、被害報告が10数カ所のゴルフ場からありました。その後、19年ぶりの豪雪となり4月中旬をすぎてもクローズしているところが多くあります。雪解けをしてから地盤の亀裂などが見つかるかもしれません。大変心配しております。

高橋 本当に大変な状態ですね。ちょうどシーズンの一番忙しい時期に営業できないんですね。

齋藤 そうですね。下越のコースはオープンしておりますが、中越・上越地区のゴルフ場の皆さんは大変ですね。

高橋 中越地区以外のゴルフ場はどうでしたか。

齋藤 上越・下越地区では地震の被害はありませんでしたが、殆どの予約がキャンセルされ来場者が大幅に減少しました。地震もさることながら豪雪の影響がすごく大きいのです。十日町カントリークラブでは2月下旬で4メートル、妙高カントリークラブでは4.20メートルと例年で考えられないような降雪がありました。それが中越地震に追いつきをかけて新潟県全体の入場者数の大幅な減少に繋りました。

高橋 直接ボランティアはできませんでしたが、JGAの呼びかけにより、多くのゴルフ場が募金をしました。

齋藤 大変感謝しております。またKGAからも多額な見舞金をちょうだいし、長野県ゴルフ場連盟様・ゴルフダイジェスト様からも見舞金をいただきました。新潟県のゴルフ界の活性化のために、有効に使わせていただきたいと考えています。

### ●●● 新潟県の特色

高橋 新潟県の特色として、KGAの加盟率が非

## 《新潟県》

### 新潟県ゴルフ界の復活をかけて

齋藤文志郎常務理事に聞く

### ●●● 中越地震とその影響

高橋 まず、去年の中越地震と冬場の豪雪は非常に大変でしたね。大きな影響があったと思います



齋藤常務理事

常に高いですよね。イベントにも殆どのゴルフ場が参加されていますね。

齋藤 新潟県ゴルフ場連盟に加盟したゴルフ場で会員制のゴルフ場は殆どKGAに加盟しており（現在36俱楽部加盟）、なおかつ関東俱楽部対抗には基本的に全てのゴルフ場が参加することになっています。以前から新潟県には、俱楽部対抗選手権が開設されておりました。いまは関東俱楽部対抗予選と、新潟県俱楽部対抗選手権を同時開催しています。その中にAクラス・Bクラス共、個人戦を設けてありますので大会は大変に盛り上がり、新潟県では関東俱楽部対抗がゴルフのイベントとして一番大きな大会になっております。

高橋 今年は31俱楽部が参加されますよね。それだけ多くの俱楽部が、1つのゴルフ場に集まって競技をするのですから運営は大変でしょうね。

齋藤 積雪の関係で平成15年までは、関東俱楽部対抗予選を前年の9月に開催していました。しかし参加俱楽部が増加して、9月の日照時間では競技の終了が困難になり、昨年から他都県と同時期の5月に開催することになりました。以前は会場を順番に持ち回りしていましたが、現在は下越地区の雪が少なくてオープンの早い36ホールのゴルフ場で開催しています。36ホールを使用し、Aクラス・Bクラスを別のコースで行えば、3時ごろには競技が終了しますので、下越の2つのゴルフ場で交互に開催することになりました。

高橋 ここ数年は会場を固定化して運営されているのですね。

齋藤 同じ県内で多くの選手が一堂に集り競技をするのは関東俱楽部対抗だから、分けてやりたくないというのが皆さんの意見でしたが、近くの2カ所のゴルフ場でAクラス・Bクラス別々に

開催し、表彰式を1ヶ所で行なつたらどうかなども考えられますので、これからも皆様のご意見をうかがいながら開催方法を決めて行きたいと考えています。

高橋 ところでKGAでは、県単位の横断的な組織づくりを考え、新潟県をモデルケースとして参考にしたいと考えています。その後も県体協や競技団体とも活発な交流をなさっているわけですね。

齋藤 ゴルフ場関係と体協関係が一体化しています。当初、競技については新潟県ゴルフ場連盟が主催していましたが、体協加盟のときに、新潟県ゴルフ場連盟を解散し、新潟県ゴルフ連盟を設立し、その中に総務委員会・体協部会・支配人会をつくりました。大会開催については、全てのゴルフ場からどの大会を開催したいか希望を提出していただき、競技委員会がコース選定を行い順番に開催しています。

### 国体と新潟県選手

高橋 新潟県は国体選手選抜をどのように行なっていますか。まずは成年の部から教えてください。

齋藤 男子の選手選抜は、1年内に県連盟主催のスクラッチ競技が5つあります。それに関東アマ決勝・国体を加え、その中からスコアの良い4競技のトータルスコアを出して上位2名を選びます。女子の場合は、4競技と関東女子アマ決勝・国体を加え、その中から3競技のトータルスコアで2名を選びます。そして5月の第4週にある県知事杯を国体最終予選会とし、その優勝者を1名加えるという選手選抜をしてきました。さらに、一昨年から男子・女子共、新潟県月例競技会（4月～11月まで）の年間最優秀選手を1名加え、4名で研修会をやり、最終的に3名を決める方法で選抜しています。

高橋 少年の部の選手選抜はどのような問題がありますか。

齋藤 中学生の少年の部の選抜には大きな問題が

あります。主力選手は高校進学時に他都県に行ってしまうことが多いです。それに、来年から少年女子の部がなくなり、女子の部は国体選手選抜に最低ジュニア1名を加えるということになりましたが、関東ジュニア選手権や新聞社主催など他競技に出場していて、新潟県の予選競技には出られない場合もあり、どのように選抜するかが大きな問題ですね。

他都県の高校に進学してしまう原因一つとして考えられるのは、新潟からジュニアの競技に参加するにかなり費用がかかることがあります。たとえば関東ジュニア選手権や新聞社の大会に出場すると1回4万円ぐらいがかかります。新幹線の往復で2万円、宿泊費、参加費、タクシー代ともろもろあります。練習ラウンドも加えますと大変出費が多くなります。冬は3～4ヶ月間ゴルフ場がクローズしますので、冬降雪のない地区的ゴルフ部のある高校に入学させてやりたいと言う、親御さんのお気持ちも理解出来ます。

高橋 何か対策は考えていらっしゃいますか

齋藤 県連盟ではジュニア委員会をつくりて育成に力を入れています。私共も学校に働きかけゴルフ部設立を進めておりますが、ようやく現在3校でゴルフ部ができました。また、新潟県の学校では学費を免除するなどの支援をしている所もありますが、交通費や旅費までは負担できません。

高橋 全国から多数の主力選手が集まる都県であっても、国体選手は3名しか出場できないのですよね。あの優秀な選手は全員出られません。やはり各都県の平均化が必要でしょうし、出身県から出場することが見直されるといいですね。

### ジュニア及び女子ゴルファーの育成

高橋 新潟県のジュニア育成の取り組みを教えてください。

齋藤 各ゴルフ場が懸命に対応しています。午後のプレーを無料にしているゴルフ場が多いですね。また朝からプレーしても1,260円というゴルフ場も



5ヵ所ほどあります。ゴルフ場によって多少料金の差がありますので統一しようと話を進めています。また、新潟県ゴルフ連盟にはジュニア選手権、ジュニア選抜選手権などの大会がありますが、この参加費とプレー代を県連盟で負担しています。また中条ゴルフ俱楽部ではジュニアゴルフ大会を無料で開催するなど各方面で力を入れています。

フォレストゴルフクラブでも、毎週土曜日に30名ほどジュニアレッスンを開催しており親御さんも参加されています。また、4年後に新潟国体もありますので、小学校上級生から中学1～2年生のジュニアに県としての支援が始まっています。

高橋 そういう支えの積み重ねが、地元に定着するのでしょうか。そうしますと各ゴルフ場とも費用の面では、かなり負担をして活動されています。

齋藤 そうですね、これからのゴルフ界を活性化させるための負担と言う考え方ですね。来年からはさらに各練習場とタイアップしながら、上中下越の練習所でプロやアマチュアの皆様から協力をいただき、無料で講習会を定期的に開催する話も進めており、積極的に動けるようになると思います。

高橋 冬期間の練習場はクローズになるのですか。

齋藤 練習場は雪が降っていても営業しています。



程度にもりますけれど。新潟の人たちは熱心ですよ。雪が降っていて0℃近くになっても練習をする人がいます。こんなに熱心に練習しても、3ヵ月～4ヵ月はやはりコースには出られませんからハンディがあると思います。

高橋 各ゴルフ場では新たにゴルファーを増やそうと活動なさっていると思うのですが、女子プレイヤーの普及について教えてください。

齋藤 新潟県には、女子のゴルフ部などを導入している高校や大学がありませんでしたから30歳近くになってから始める方が多いですね。

高橋 比較的スロースターターですね。

齋藤 以前は新潟県女子アマチュア選手権に200人くらいのエントリーがありましたけれど、競技志向を前面に出しましたら参加者が100名程度しか集まらなくなりました。それで今年から、ペリアの部は1日で終了して表彰をし、スクランチの部は上位30名を対象にした2日間競技にしてチャンピオンを決めることにしました。全体的に盛り上がりが出て来ているのではないかと期待しております。

高橋 そうするとゴルファー同士で誘いあったりして、また参加者も増えますからね。一つきっかけをつくるという意味の経過的な方策ですね。

齋藤 また、県連盟主催競技の上位者3～6名には、年間土日も含めて新潟県の全ゴルフ場をメン

バー料金でプレーできる新潟県の連盟賞を発行しています。

高橋 それはすごい特権ですね。

齋藤 新潟県のアンダーハンディキャップ選手権の場合、関東アンダーハンディキャップ選手権の予選会と併行して開催しています。そこにアンダーハンディキャップA・Bの部、スクランチの部共、チャンピオン及び上位者に連盟賞を差し上げ表彰しております。今では、150～160人の参加があり、大変な盛り上がりを見せております。

高橋 1会場では参加者が一番多いのではないでしょうか。

齋藤 PRしなくとも多くの方が参加したいと申し込みがあります。

高橋 女子俱楽部対抗についてはいかがでしょうか。

齋藤 俱楽部の任意参加で女子俱楽部対抗を開催しています。女子の場合は競技志向が強くなっていますと何回も練習ラウンドに来られますね。男子選手は大会で優勝したいという「一発勝負派」が多く、練習ラウンドはあまりしないようですね。女子選手は、何回もコースをチェックするようです。このような大会を開催すると、本戦だけでなく俱楽部内で選手選抜の競技を開催したりして、参加者が多くなって来ますので活性化につながると思います。

高橋 いずれにしても女子俱楽部対抗はそれぞれの県で育て上げて行くというご意見ですね。

齋藤 初めは小さなものでいいですし、新聞社との共催もいいです。競技を開催することが大切ですね。

### ●●● 利用税、固定資産税にかかる活動

高橋 ここで競技から離れて、固定資産税と利用税の問題についてうかがいます。

齋藤 今のところ各ゴルフ場がそれぞれ独自に地元自治体と対応しています。そして状況が進展したゴルフ場から、毎月県連盟の会合で報告をして

頂いています。やり方やノウハウをお互いに交換しながら対応しています。

高橋 どのような方法であっても効果が出ればいいですね。下がった分はプレーヤーにも還元できますからね。

### ●●● シニアゴルファーを大切に

齋藤 新潟県はゴルフに関しては後進県でしたが、20数年前から新潟県でゴルフ普及に貢献してこられた方々が80歳近くになっておられましたので、長年の貢献していただいた皆様に感謝の意味で県内ゴルフ場のメンバーで75歳以上の方は、新潟県全ゴルフ場の料金をメンバー扱いにすることにしました。当初は7名ぐらいでしたが、今では高齢化が進み毎年130名ほど優待カードを発行しています。現在ではプレー料金をメンバー料金+2,000円にしていますが、本当に多くの方が来られています。若い時は自分のコースしか行かないという方も、いろんなコースへいっていらっしゃるようです。

高橋 グランドシニアより一段上の方たちですね。ある一定の年齢になるともうゴルフをやらないんだとおっしゃる方が多いですけれど、こうした優待があると続けようということになりますね。

齋藤 85歳以上の方もたくさんいらっしゃいます。長く健康でいていただくにはゴルフが一番ということでしょうね。

高橋 新潟県のグランドシニアの方はそういう点で幸せですね（笑）。

齋藤 当初はそんな安い料金でと言われていましたが、今では歓迎されています。

高橋 確かにそういう企画も活性化の1つの手段ですね。

### ●●● KGAに望む

高橋 ところでKGAのから県連盟に、年間80万円の助成金が出ております。これはどのようにお使いになっているのですか。

齋藤 ジュニア育成や競技開催を中心に県連盟で使わせて頂いております。

高橋 各ゴルフ場では県連盟運営のために年会費等を負担していらっしゃいますか。

齋藤 新潟県では、体協組織が今まで会員制度をとっていないのです。ですからゴルファーからは年会費を頂いていません。国体に行く費用は県と県連盟から出します。各ゴルフ場が入場者1人当たり10円を負担し拠出しています。去年は地震で入場者が減りましたけれども、大体月に100万円、年間1,200万円の資金が入ります。それで運営しているわけです。新潟県の要請があり、来年から国体の運営のために協力金を集めてほしいという話があります。協力還付金が若干戻って来ると思われますので、それもジュニア育成に使用したいと思っています。

高橋 10円をプレーヤーからいただくということは困難なことだと思いますので、俱楽部の負担も大きくなりますね。

齋藤 これは大変な負担ですが、やはりこの大切な活動資金を県連盟では、ジュニア育成などのゴルフ活性化のために続けていくことがゴルフ界の発展につながることだと思います。

高橋 ところで新潟県としまして、KGAに対しての要望事項は何かありますか。

齋藤 年会費の特別措置をさらに2年間やっていただきたい。それから競技の参加料をもう少し安くしてほしいですね。そうすればまた参加者が増加すると思います。是非検討していただきたい。

高橋 基本的に競技にかかる経費の中身を、もう一度見直す必要がありますね。

齋藤 コース使用料が50万円に下がりましたが、競技参加料も下がったため参加者が非常に増えました。練習ラウンドなども入れるとゴルフ場としては採算的には合いますが大変活性化されてよかったです。しかし選手側としては競技参加料が2万円になってしまって、他に費用が沢山かかりますからもっと下げてほしいという要望があります。

高橋 コース使用料の値下げは、全体的にはいい傾向になったのだろうと思います。だから競技参加料に反映させていかなければということですね。また別の支出を抑えいくことも大切ですね。たとえばKGAの競技委員が出張しないで俱楽部競技委員にお願いするとか。

齋藤 競技開催俱楽部の競技委員の任務は何なのかということですよね。KGAから競技委員で責任者が2~3名来て頂ければ良いと思います。新潟では俱楽部競技委員は6~7名出ますから。

高橋 これは委員会としての考えもあると思いますが、連盟として見た場合には費用配分の問題を考えておかないといけないですからね。

齋藤 はいそうですね。もう一つの要望は、レベルの異なる多数のゴルファーみんなで参加できるような新しい競技をつくってほしいですね。

高橋 なるほど、将来アンダーハンディキャップを年齢別に分けるとか、たとえばシニアだけとか、そうするともっと参加しやすくなるかもしれませんね。

齋藤 そうなんです。一般のメンバーやゴルファーはKGAに対して親近感はありません。大きく活性化するには、いかにKGAに目を向けて頂けるかが必要なのです。JGAも同じことですね。

### ●●● KGAゴルファーズカードの普及

高橋 KGAゴルファーズカードにつきましては、新潟県に大変期待をしていますが、その後いかが

でしょうか。

齋藤 なるべく機会あるごとに紹介をして浸透させています。本年は、俱楽部対抗の予選競技でPRしたいと思っております。

高橋 KGAカードもいろいろなゴルファー保険が付いていますが、大きなポイントの1つとしてETCカードがセットされていることですね。

齋藤 そうですね。県連盟できちんと話をしてPRをしますので普及すると思います。

高橋 特に新潟は高速道路網が充実しましたから、北陸自動車道もあれば、東北から来る道路もできていますね。ETCカードがセットされたことを強調してPRするにはちょうどいいですね。期待しています。

### ●●● 結び

高橋 今日はいろいろお話をうかがいましたが、いずれにしましても中越地区のゴルフ場の皆さんに、早く以前の状態に復帰されるとよろしいですね。

齋藤 特に被害を受けたコースは雪が多いところです。完全に雪が消えて、雪解けの水が亀裂に入ったらまた崩落するかもしれません。本当の被害はもう少したたないとわからないと思います。

高橋 早くいい状態に復帰できますよう、他地区の加盟俱楽部もみんな同じ考えていると思いますので、ぜひ頑張ってください。

齋藤 どうもありがとうございます。



### レポート／春季ジュニア・スクール

# 少年よ、野に出て遊べ...

## ★自己実現の「驚き」

文・杉山通敬（KGA広報委員） 写真・舟橋一芳（KGA広報委員）



小学1年生から中学2年までのジュニア36名が、東京・杉並にある『ハイランドセンター』に集まった。時は4月1日。その前日に靖国神社の桜が何輪か開花し、気象庁は東京地方の開花を告げた。風は少し強かったが温かい日だったこともあり、36名の少年少女は楽しげにボール遊びをした。

別に意図したわけではないのに男子18名、女子18名であったばかりか、ゴルフ経験者と未経験者も18名ずつであった。世話役は男女プロ12名と大鷲俊朗委員長以下のジュニア委員13名。男女とも4人組が3組と3人組が2組。それぞれのグループに

プロとジュニア委員が付き添った。

午前は女子のグループが練習場でボール打ち。男子は隣接のパー3コース（全長371mの7ホール、パー21）でラウンド。その前にエチケットの指導があり、ゴルフ規則第1章「エチケット」に即した心得を分かりやすくレクチャーする。

クラブを振る時は周りに人がいないことを確かめ、また打席やティでボールを打つ人がいれば近づかず、物音や声を出さないこと。ゴルフのエチケットは、人に迷惑をかけないことが最も大切なだけ、それからみんなと仲良くするために挨拶



ルールブックと裁判集を手に熱心に説明する大鷲委員長



「迷惑をかけない」ことが大切という教えにみんな真剣そのもの

拶をきちんとしてることですよ、と優しい口調で強調し子供達は各人各様のうなずき方をする。小学1年生とおぼしき少女がベコリ、とうなずいたのが可愛かった。

練習場での球打ちでも、パー3コースのラウンドでも、少年少女は面白そうに遊び、遊びながらそれぞれに球をうまく打つはどうしたらよいか、模索しているようだった。最初からうまく打てるはずがないのだから、圧倒的に失敗が多い。かと

いって、失敗ばかりでもない。指導のプロや委員からアドバイスを受けるうちに、自分なりに何かコツらしきものを掴み取り、満足のいく結果が出ると表情が晴れわたる。

それは、自分にもこんなすばらしいことが出来るのか、という「驚き」の表情だった。自分の体や感覚で、いまだかつて味わったことのないことをやってのけた「驚き」の表情なのだ。それを見ると、こっちまで楽しくなる。彼らにとって、ゴ



スタート前の準備体操



澄んだ目でボールを追う



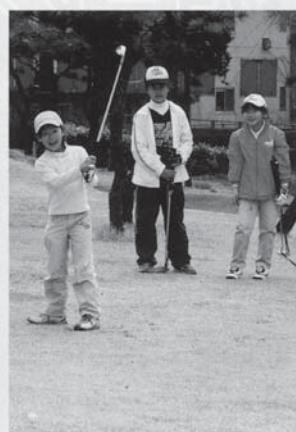
うらやましい伸び伸びとしたフォーム



わが子のプレーに見る親権者たち



ボールはあるがままに打つ



「うまく飛んだ」と思わずニッコリ

ルフはスポーツであるか、遊びであるかはともかく、いずれにしてもエチケットがあり、ルールがあることを知り、ゴルフをやることによって社会生活のシミュレーションを巧まずしてやっている。

そして、球打ちによって自己実現の面白さや楽しさを味わっている。社会生活のシミュレーションと自己実現の面白さ。それを体得させることの素晴らしさ。喜び。愉快。これこそは現代社会のオトナ達が忘れていたものなのかもしれない。

「遊び」の堕落した社会が健全な社会であるはずはないのだから、ゴルフに限らず、少年少女に健全な「遊び」に親しませることは、これから社会を健全にすることにほかならない。

「少年よ、野に出て遊べ」

春の1日を少年少女と過ごし、つくづくとそう思った。自然に帰れば、ケイタイもテレビゲームもいらないではないか、と思わず知らず、私はつぶやいていた。



基本に忠実、真剣なアプローチ



プロのレッスンにも熱が入る



ハイランドセンター内藤裕義社長と大鷲委員長

# ジュニア／ア・ラ・カ・ル・ト

恒例のKGA春季ジュニア・ゴルフスクールは、3月22日から4月4日まで、7会場（鷹之台CC、セントラルGC、我孫子GC、茨城GC、千葉CC川間コース、青梅GC、ハイランドセンター）で行なわれた。元気一杯、プレーに打ち込むジュニアたちの素顔を追ってみた。

茨城GC・青梅GCでのレッスン 写真・塚越克一、増田 收（KGA広報委員）



ここがトップの位置だよ



いざコースへ。足どりも軽い



スコアの付け方も練習のうち



両膝は目標に平行に



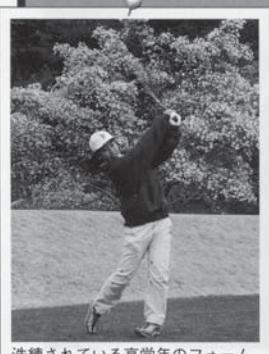
さあ、目土を持って…



バンカー均らしも忘れずに



雨の中のショートパット



洗練されている高学年のフォーム



ナイスショット！

New

## 新規加盟倶楽部紹介

### 藤岡温泉カントリークラブ



1. 倶楽部名 藤岡温泉カントリークラブ

住 所 〒375-0047

群馬県藤岡市上日野字細谷戸649

電 話 0274-28-0091

F A X 0274-28-0356

2. 開場年月日 昭和63年10月2日

3. 理事長 杉本 英世 (S.13.2.16生)

4. 倶楽部部分科委員長

ゼネラル委員長 鈴木 進

競技委員長 中村 浩一

ハンディキャップ委員長 齊藤 国人

5. 支配人 佐藤 智之 (S.38.7.17生)

6. 倶楽部概要

樹齢80年を超える杉や檜の大木が、ホールをセパレートする林間タイプの18ホールズ。コース自体の高低差はあるものの、ホール内は比較的フラットで攻めやすい。池をバランス良く配した4番ホールと9番ホールは景観美と戦略性に優れた名物ホール。自然の樹木が豊富で、それが大きな戦略要素になっている。

1番ホールは短めのミドルホールで、第1打は軽い気持ちで攻められる。2番ホールはグリーンが2段になっており、縦に長いのでカップの位置によっては2打での使用クラブが問題になる。4番ホールはグリーンの前に池があって、美しくもありまた難しいホール。8番ホールはショートホールで、造園美をかもし出している。

インコースも同じように13番ホールのショートホールはやや打ち上げで、2段グリーンとなっており戦略性の高いショートホール。14番ホー

ルは谷越えのミドルホールとなっており、こちらも戦略性が高いホールとなっている。各ホールとも狙いをきっちりさせて、正確性の高いショットが要求される。

また、隣接する「藤岡温泉ホテル」は、天然温泉で檜風呂をはじめ大理石、貸しきり露天風呂と温泉を楽しめ、食事は四季折々の食材を使った懐石料理となっている。

### アザレアカントリークラブ



1. 倶楽部名 アザレアカントリークラブ

住 所 〒319-2412

茨城県常陸大宮市小瀬沢814

電 話 0295-56-3131

F A X 0295-56-3881

2. 開場年月日 平成5年4月27日

3. 理事長 島津 孝一郎 (S.9.10.9生)

4. 倶楽部部分科委員長

コース委員長 市川 隆訴

競技委員長 金澤 正幸

ハンディキャップ委員長 清藤 悠

エチケット・フェローシップ委員長 小柴 士郎

5. 総支配人 岩澤 茂 (S.23.1.15生)

6. 倶楽部概要

当俱楽部は平成5年4月にオープン致しました。常磐自動車道 水戸ICより約32km、那珂川の清流を湛えた御前山を間近に控えた茨城県奥久慈に位置しており、豊かな自然に恵まれたコースです。

自然林の多くを残し、自然の地形を生かした丘陵コースでフラットですが、谷などがレイア

## 新規加盟倶楽部紹介

ウトに組み込まれており、池やバンカーを巧みに配置しているため個性的で戦略性に富んでおります。

194ヤード池越えの6番ショートホール、セカンドショットが谷超えになる13番ホールなどの名物ホールがあり、飽きがこないと言った評価を頂いております。

ナポレオンハットの形をしたクラブハウスは、ゆるやかな曲線の屋根に包まれており、2階までの吹き抜けと一面ガラス張りからなる明るさに加え、室内は当倶楽部名の由来であるアザレアカラーでコーディネートされており、ゆったりとした雰囲気の中に温かみを感じさせてくれます。

プレー終了後は、豊富に湧き出る温泉「アザレアスパ」にてお寛ぎ頂けます。

**泉質** ナトリウム・炭酸水素・硫酸塩泉  
**効能** 神経痛・筋肉痛・関節痛・疲労回復 他  
疲れを癒しリフレッシュできる空間です。

今回の加盟を機に初心にたちかえり、新たな気持ちで社員一同一丸となり、会員の皆様に常に喜んで頂けるゴルフ場を目指して一層の努力を積み重ねていく所存です。



### 1. 倉楽部名 ホワイトバーチカントリークラブ

住 所 〒300-0023  
茨城県土浦市沖宿町3476  
電 話 029-828-0911  
F A X 029-828-0910

### 2. 開場年月日 平成9年9月7日

### 3. 理 事 長 小沢 大助 (S.21.7.25生)

### 4. 倉楽部分科委員長 選任中

### 5. 支 配 人 佐野 孝 (S.29.12.3生)

### 6. 倉楽部概要

当倶楽部は、霞ヶ浦脇の沃野に展開する18ホールの林間コースです。関東ではめずらしいワンウェイ、スルーでプレーするゴルフ場として、平成9年にオープンいたしました。アウト・インのスタートと違って折返しを設定した時間枠ではなく、1枠1組のみのスタートとなりますので、夏場なら朝5時から午後2時30分まで、プレー可能な時間はいつでもスタートしていただける態勢を整えています。

当初は、全組乗用カート使用でまわるセルフプレーのコースとしてオープンいたしましたが、現在はお客様の希望に応じて、キャディ付のプレーもお楽しみいただけるようになっています。

常磐自動車道土浦北インターから15分とアクセスに恵まれているため、東京方面の会員も少なくありません。また、土浦市で唯一のゴルフ場として地元にも密着した営業を行ない、特に土浦市社会福祉協議会の後援で定期的に開催するチャリティーコンペは、すでに7回を数えています。

高低差5メートルのフラットな敷地に、ピート・ダイが手がけた、美しい景観と挑戦意欲をかきたてる戦略的なレイアウトのコースが広がります。

フェアウエイ右側に100ヤード以上のバンカーが横たわる6番、池とバンカーがグリーン左右に迫る8番、グリーン手前に3段、5つのバンカーが口を開ける12番など、ホールごとに個性を持つ18のコースがプレーヤーを迎えてくれます。

この度の関東ゴルフ連盟に加盟を機に、スタッフ一同いっそう努力を重ね、会員の皆様とともにホワイトバーチカントリークラブをよりよいゴルフ場に育てていきたいと考えております。

## 総会・理事会・分科委員会

### 第57回 通常総会議事録

日 時 平成17年2月22日 (火)

午前10時

場 所 ホテルニューオータニ 麗の間

定刻吉田理事長議長席に着き、事務局より加盟498倶楽部（除く準会員）中、委任状を含め310倶楽部の出席となり、適法に成立した旨の報告の後、議事録署名者として、南学正昭常務理事、小坂健介理事を指名し、開会を宣した。次いで平成16年度事業及び今後の活動につき所信が表明された。

具体的には平成16年度に関して、競技活性化の指標とも言うべき競技参加者数が順調に増加し、連盟収支も、相応の計数を確保し得たことにつき、関係各位に対し、感謝の意が表された。

今後については、

- (1)競技の活性化
  - (2)JGAハンディキャップ制度の普及
  - (3)ジュニアゴルファーの育成
- の諸点を中心として活動する旨の所信表明の後、上程議案審議を行った。

### 決議事項

### 第1号議案

「平成16年度事業報告、ならびに一般会計・特別会計決算の承認を求める件」

議長の指示により、事務局より、総会、常務理事会、理事会、各分科委員会の審議事項、活動内容及び主催競技につき説明がなされた後、一般・特別両会計の決算報告が行われた。次いで近藤監事の監査報告がなされ、原案どおり承認された。

### 第2号議案

「平成17年度事業計画、ならびに一般会計・特別会計予算案の承認を求める件」

普勝副理事長より、予算編成の基本方針が示された。具体的には、収入では、ゴルフ界の厳しい状況を考慮し実質ゼロベースとしたこと、支出では第1に競技参加者の増加に対応して、競技会場費、競技運営費の増加を予定していること、第2にハンディキャップの規定改定と女子ハンディキャップの公式競技適用に対応してJ-sysの再構築を図ることとした。

これにより総合収支は収支均衡に近い若干の黒字としているとの説明がなされた。次いで事務局より一般・特別両会計の予算案につき報告がなされ、原案どおり承認された。

### 第3号議案

「役員全員任期満了につき改選の件」

議長より、平成16年11月16日の常務理事会において、細則に基き選任された11名の各都県理事候補推薦委員より、推薦された52名の候補者、ならびに細則に基き理事会に於いて正副理事長に一任となった学識理事7名の候補者、また平成17年1月20日の理事会において選任された監事2名の候補者の氏名が発表され、承認された。

### 決議事項

### 第4号議案

「平成16年度事業報告、ならびに一般会計・特別会計決算の承認を求める件」

統いて議長は、総会を休憩し、規約第16条の定めにより、新理事による新理事長互選の為の会議の開催を指示、別室において新理事長の選任協議がなされた。

### 山梨県よりの理事

櫻川廣政・志村和也・堀内光一郎

### 群馬県よりの理事

相澤伸幸・貫井忠彦・萩原剛  
福田彰・村上富司

### 栃木県よりの理事

内山浩一郎・佐々木靖雄  
篠崎勝宏・高橋利之・富田一吉  
広中三男・福嶋寿克

### 茨城県よりの理事

安藤修一・海老原寿人・古賀始  
黒澤長利・塙原裕・平山誠一  
村山政志

### 埼玉県よりの理事

尾関秀夫・高橋正孝・竹田恒正  
林雄太郎・吉田友明

### 千葉県よりの理事

飯豊周二・牛込公一郎  
小宮山義孝・塙本清士郎  
富田浩安・平岩健一・渡邉満之助

### 東京都よりの理事

難波重幸・森川幸美

### 神奈川県よりの理事

井上裕之・岩宮浩・田土部勝昭  
廣幡忠淳

### 静岡県よりの理事

伊藤淳・佐藤研三・南学正昭  
前川昭一(定員5名のところ、推薦4名)

### 学識理事

大原慎二・大鷲俊朗・川田太三  
田村圭司・野口正三・松本富夫  
水野正人

### 監事

近藤敬・廣瀬康夫

# 総会・理事会・分科委員会

田新理事長となり議事を再開した。

**報告事項**

①財日本ゴルフ協会の組織改革に関する件  
議長より詳細な説明がなされた。  
尚、詳しくは平成17年1月初旬財日本ゴルフ協会より各俱楽部宛送付された議事録を参照されたき旨あわせて発言された。

②財日本ゴルフ協会理事、監事および評議員各候補に関する件  
平成17年1月20日の常務理事会において、候補者の選任が正副理事長に一任されたのを受けて、議長より、各候補者氏名が発表された。

**理事候補**  
尾間秀夫・小宮山義孝  
前川昭一・吉田友明

**監事候補**  
廣瀬康夫  
評議員候補(組織改革に伴う1名増員分)  
渡邊満之助

③財日本ゴルフ協会平成16年度事業報告、および決算報告、ならびに平成17年度事業計画、および予算に関する件

議長の指示により、事務局より次の報告がなされた。  
「平成17年度事業計画および予算は、平成16年12月15日の財日本ゴルフ協会理事会において決定し、加盟俱楽部に送付済みである。平成16年度事業報告、および決算報告については、来る2月28日に開催される財日本ゴルフ協会理事会終了後に送付される予定である。」

次の諸点につき、質問及び意見の表明がなされた。

- (1)新JGAハンディキャップ制度の進捗状況
- (2)政策強化のための、KGAシンクタンク設置の要望
- (3)国際貢献への積極的関与
- (4)会員俱楽部に対するKGAよりの諸指導の要望

以上をもって、総会の議事を終了、議長より、退任された理事(田中經策、神場多巳一、吉澤兵左、砂金俊夫、鬼沢忠治、人見隆清、普勝清治、近藤久男、大池誠実の各氏)への謝辞が述べられ、またご逝去なされた故太田哲男氏、滝沢武氏及び特別顧問の新井安寿氏に哀悼の意を表明され、11時30分閉会を宣した。

平成17年2月22日

議事録確認署名者

議長 吉田 友明 (印)  
署名者 南学 正昭 (印)  
署名者 小坂 健介 (印)

## 平成16年度 第3回 常務理事会議事録

日 時 平成16年11月16日 (火) 正午  
場 所 ルビーホール 橋の間  
出席者 吉田理事長、牛込、小宮山、  
普勝各副理事長  
赤羽、岩宮、大原、篠崎、  
高橋、塙原、南学、萩原、  
広中、渡邊各常務理事  
定刻、吉田理事長、議長を務め開会を宣し、議事録署名者として赤羽功、渡邊満之助両常務理事を指名した。

### —討議 及び 決議事項—

#### ①加盟審査の件

正会員として加盟申請のあった「藤岡温泉カントリークラブ」(群馬県)につき、慎重審議の結果、これを承認した。

#### ②競技関係の報告、提案の件

牛込副理事長、及び担当常務理事より次の報告、提案がなされ、それぞれ承認、又は確認された。  
(1)平成17年度競技日程の件  
競技参加者の増加に対応して、予選会場を平成16年度比6会場増設することを含め、競技日程につき説明がなされた。

(2)平成18年度以降の競技の件  
関東アマチュアゴルフ選手権の実施方法につき、参加者数の増加に対応して、予選会場を増設すると共に、実力者を遗漏なく選抜するため、新たに第2次予選(仮称)を設定したい。実施時期は平成18年度よりとし、詳細は競技委員会にて検討したい。

渡邊常務理事よりシード枠について、再検討を願いたい旨の発言があった。

高橋常務理事より、関東俱楽部対抗埼玉地区について、平成17年度から現在の1会場より2会場に増やす計画である。については、競技委員会、コース選定委員会にて検討願いたいとの要請がなされた。

(3)JGAハンディキャップ規定の改正と対応の件

大原常務理事より、  
①JGAハンディキャップ規定の改正点

②説明会の開催

③システム対応について説明がなされた。

#### (4)コース・レートの件

①コース・レート一覧表の件  
大原常務理事より女子コース・レートにつき、「暫定」「置換」によって査定をした一覧表を作成し、各俱楽部で配布する旨報告がなされた。

#### ②コース・レート査定料改定の件

大原常務理事より連盟未加盟俱楽部の新規査定料、及び再査定料を、コース・レート査定の普及促進と、他連盟との整合性を勘案して、現行100万円、50万円を改定し、平成17年度より40万円、20万円としたい旨提案がなされ、承認された。

#### (5)後援競技追認の件

事務局より前回の常務理事会にて暫定承認された、平成16年10月14日~15日開催の「栃木県オープン」につき、資料に基づき説明がなされ、後援競技として追認された。

#### (6)その他

牛込副理事長より関東俱楽部対抗の競技方法につき、競技委員会にて検討を行ったが結論が出ていないので、継続審議をしたい旨報告がなされ、了承された。

#### ③平成16年度一般会計・特別会計決算案、ならびに平成17年度一般会計・特別会計予算案に関する件

普勝副理事長より、  
①本案は最終ではなく中間報告である。

#### ②平成16年度決算より一般会計から

# 総会・理事会・分科委員会

特別会計へ、事務負担費として収入比率によって算出された費用の配賦を行うこととしたとの説明がなされ、詳細は事務局より説明した。

#### ⑤平成17年度分科委員長、分科委員の選任方法に関する件

小宮山副理事長より分科委員については、規約第22条により、常務理事会において選任することとなるが、従来の慣行に則り次の通りとしたい旨の提案がなされ、承認された。

#### ⑥平成17年~18年度理事候補選任の件

小宮山副理事長より、理事候補の選任につき連盟規約第14条、及び細則第1条により、あらかじめ常務理事会において、各都県別に推薦委員11名を定めることとなっている旨の説明がなされた。

推薦委員の選任については理事長一任となり、吉田理事長より次の11名が指名され、承認された。

新 潤 斎藤文志郎

長 野 赤羽 功

山 梨 田中 紹策

群 馬 萩原 剛

栃 木 広中 三男

茨 城 塚原 裕

埼 玉 高橋 正孝

千 葉 渡邊満之助

東 京 森川 幸美

神奈川 岩宮 浩

静 岡 南学 正昭 以上11名

推薦委員は各都県において「俱楽部代表者会議」を開催し、理事候補者を推挙し、その氏名を平成17年1月12日までに事務局に提出することとした。

統いて小宮山副理事長より、学識理事については、規約第14条、及び細則第2条により、理事長、及び副理事長において常務理事会の承認を得た。

#### ⑦退会俱楽部、及び退会勧告俱楽部の件

退会申出のあった「マーベルスター伊王野ゴルフ俱楽部」(栃木県・準会員)につき、事務局より説明がなされ、退会が承認された。

「グレンビーグマナーゴルフクラブ」(栃木県)、及び「東雲ゴルフクラブ」(栃木県)に対して年会費の複数年滞納により、退会を勧告するこ

# 総会・理事会・分科委員会

とが承認された。

## ⑥新潟県中越地震の件

小宮山副理事長より以下の提案がなされ、承認された。  
去る10月23日に発生した「新潟県中越地震」により被災した、新潟県下の関東ゴルフ連盟加盟ゴルフ俱楽部に対し、見舞金として100万円を予備費より拠出いたしたい。宛先は、新潟県ゴルフ連盟とし、用途については同連盟に一任したい。  
なお、これとは別に財日本ゴルフ協会による義援金協力要請についても、各加盟俱楽部に於いて配慮をお願いしたい。

## ⑦その他

- (1)役員・委員用ブレザーの件  
小宮山副理事長より以下の提案がなされ、承認された。  
平成7年度より使用していたグリーン色ブレザー（シングル）を平成17年度より紺色ブレザー（シングル）に変更したい。ブレザー本体については、個人が手配し、費用も個人負担とする。付属品（エンブレム、バッジ、ネクタイなど）については、連盟手配とし、費用も連盟負担とする。現在着用中のエンブレムは、紺色ブレザーに転用する。また、ブレザー損耗度合いの大きい競技委員等については、冬用セーターを連盟負担で支給する。
- (2)「JGAゴルファーズ俱楽部」の件  
小宮山副理事長より、今までの進捗状況について、説明がなされた。

以上をもって全議事を終了、吉田理事長14時45分閉会を宣した。

平成16年11月16日  
議事録確認署名者  
議長 吉田 友明 (印)  
署名者 赤羽 功 (印)  
署名者 渡邊満之助 (印)

## 平成16年度 第4回 常務理事会議事録

日 時 平成17年1月20日（木）  
午前11時  
場 所 ルビーホール 羽衣の間  
出席者 吉田理事長、牛込、小宮山、  
普勝各副理事長  
赤羽、岩宮、大原、篠崎、  
高橋、田中、塚原、野口、  
萩原、広中、渡邊各常務理事

定刻、吉田理事長、議長を務め開会を宣し、議事録署名者として岩宮浩、大原慎二両常務理事を指名した。

### —討議 及び 決議事項—

- ①財日本ゴルフ協会組織改革についての報告  
小宮山副理事長より資料に基づき詳細な報告がなされた。これにつき財日本ゴルフ協会に対し、重要事項（組織改革など）については、各地区連盟に於いて事前に十分な論議を尽くせるよう配慮して頂きたい旨を、申し入れるべきとの意見が出された。吉田理事長より、この意見を財日本ゴルフ協会に伝達する旨の発言がなされた。

②平成17、18年度財日本ゴルフ協会理事、監事、及び評議員各候補選任の件

候補の選任については正副理事長に一任された。正副理事長にて協議の上、候補者名を2月22日の総会に於いて報告することとされた。

③正会員から準会員への変更加盟の件  
神島谷カントリー倶楽部（栃木県、正会員）よりメンバーシップ（会員組織制）からパブリック運営（非会員組織制）への変更（平成16年4月より）に伴い、変更加盟の申出がなされている旨の報告がなされ、17年度より変更することが承認された。

④退会倶楽部の件  
那須国際カントリークラブ（栃木県）からの退会申出が承認された。

全議事終了後、吉田議長午前11時40分閉会を宣した。

平成17年1月20日  
議事録確認署名者  
議長 吉田 友明 (印)  
署名者 岩宮 浩 (印)  
署名者 大原 慎二 (印)

## 平成16年度 第2回 理事会議事録

日 時 平成16年11月30日（火）正午  
場 所 ルビーホール 鳳凰の間  
出席者 吉田理事長、牛込、小宮山、  
普勝各副理事長  
岩宮、大原、高橋、田中、塚原、  
南学、野口、萩原、広中、森川、

# 総会・理事会・分科委員会

渡邊各常務理事

相澤、安蔵、伊藤（淳）、稲川、  
大鷲、川田、小坂、佐藤、下条、  
田土部、田村、塙本、富田、林、  
平岩、平山、福嶋、福田、松本、  
宮坂、村上各理事

③JGAハンディキャップ規定改正への対応。

競技参加資格、経過措置などにつき、JGAと協議しながら対処する。

(2)ハンディキャップ委員会

上記委員長富田理事より、JGAハンディキャップ規定の改正について

①改正内容の概要

②説明会の開催

平成16年11月5日、22日に説明会を開催した。190倶楽部、422人の出席があり、活発な質疑応答がなされた。

③J-sysの対応

J-sys For Web方式（平成16年6月25日常務理事会にて承認済み）を採用し、平成17年1月より稼動させる。

### —討議 及び 決議事項—

#### ①委員会報告、及び提案

下記の報告及び提案がなされ、慎重審議の結果、それぞれ承認、又は確認された。

##### (1)競技委員会

上記委員長松本理事より

①平成17年度は、競技参加者の増加に対応して予選会場を増設する。倶楽部対抗では、埼玉地区予選会場を2会場とする。

②平成18年度以降の競技につき、下記の点を検討して行く。

(i)関東アマチュアゴルフ選手権につき、実力者を遗漏なく選抜するため2次予選（仮称）を設ける。

(ii)日本アマチュアゴルフ選手権への関東枠の拡大策。

#### ②平成16年度一般会計・特別会計決算案、ならびに平成17年度一般会計・特別会計予算案に関する件

普勝副理事長より、①決算案は確定ではなく中間報告である。②平成16年度決算より収支のより適正な表示のため、一般会計から特別会計へ、一定割合で事務負担費を配賦するとの発言の後、事務局より資料に基づき詳細に説明を行い、承認された。

#### ③加盟審査の件

正会員として加盟申請のあった「アザレアカントリークラブ」（茨城県）につき、実力者を遗漏なく選抜するため2次予選（仮称）を設ける。

#### ④JGA個人会員入会審査の件

入会申請のあった12名について、こ

れを承認し、財日本ゴルフ協会に名簿を提出することとした。

## ⑤新潟県中越地震の件

平成16年11月16日常務理事会決議により、新潟県ゴルフ連盟あて100万円のお見舞金を贈呈した旨、報告がなされた。

吉田理事長より、新潟県斎藤常務理事から有効に使わせて頂く旨のお礼があったと、報告がなされた。  
なお、これとは別に財日本ゴルフ協会による義援金協力要請についても、各加盟倶楽部に於いて配慮された旨の依頼がなされた。

## ⑥その他

- 役員・委員用ブレザーの件  
事務局より、平成16年11月16日常務理事会により、次の決議がなされた旨報告した。

平成7年度から使用していたグリーン色ブレザー（シングル）を平成17年度より紺色ブレザー（シングル）に変更する。ブレザー本体については、個人が手配し、費用も個人負担とする。付属品（エンブレム、バッジ、ネクタイなど）については、連盟が手配し、費用も連盟負担とする。現在着用中のエンブレムは、紺色ブレザーに転用する。また、ブレザー損耗度合の大きい競技委員等については、冬用セーターを連盟負担で支給する。

以上をもって全議事を終了、吉田理事長14時00分閉会を宣した。

平成16年11月30日

# 総会・理事会・分科委員会

議事録確認署名者  
議長 吉田 友明 (印)  
署名者 高橋 正孝 (印)  
署名者 大鷲 俊朗 (印)

## 平成16年度 第3回理事会議事録

日 時 平成17年1月20日 (木)正午  
場 所 ルビーホール 凤凰の間  
出席者 吉田理事長、牛込、小宮山、  
普勝各副理事長  
赤羽、岩宮、大原、篠崎、  
高橋、田中、塚原、南学、  
野口、萩原、広中、  
渡邊各常務理事  
相澤、伊藤(淳)、福川、  
井上、大鷲、尾閑、佐藤、  
志村、田土部、田村、富田、  
林、人見、平岩、平山、福嶋、  
福田、前川、松本各理事  
廣瀬監事

開会に先立ち、12月3日にご逝去なされた故滝沢武氏に哀悼の意を表し、全員黙祷を捧げた後、吉田理事長、議長を務め開会を宣した。  
事務局より理事55名中、委任状を含めた51名の出席となり過半数の出席により、適法に成立した旨報告の後、議長より議事録署名者として塚原裕常務理事、尾閑秀夫理事が指名され、順次議題の審議を行なった。

### —討議 及び 決議事項—

①平成16年度一般会計・特別会計決算案ならびに平成17年度一般会計・特別会計予算案に関する件  
事務局より詳細に報告説明を行ない、

慎重審議の結果、これを承認、通常総会に上程することとした。

②平成17年、18年度関東ゴルフ連盟理事、及び監事各候補選任の件  
議長より規約第14条及び細則第1条、細則第2条により、各都県よりの候補者推挙を受けて52名の理事候補者名簿(静岡県は定員5名のところ推薦4名であった)、学識理事候補7名、監事候補2名の候補者名簿が提出され、2月22日の通常総会に付議することとされた。

③財日本ゴルフ協会の組織改革についての報告の件  
小宮山副理事長より資料に基き詳細な報告がなされた。

④平成17年、18年度財日本ゴルフ協会理事、監事、及び評議員各候補につき報告の件  
議長より「候補の選任については1月20日の常務理事会に於いて正副理事長に一任されたので、正副理事長にて協議の上、候補者名を2月22日の通常総会に於いて報告する」旨の発言がなされた。

⑤第57回通常総会に関する件  
平成17年2月22日午前10時より、ホテルニューオータニにて開催し、下記議案を上程することを承認した。

⑥第1号議案  
平成16年度事業報告、ならびに一般会計・特別会計決算の承認を求める件

⑦第2号議案  
平成17年度事業計画、ならびに一般会計・特別会計予算案の承認を

求める件  
第3号議案  
役員全員任期満了につき改選の件

報告事項  
①財日本ゴルフ協会の組織改革に関する件  
②財日本ゴルフ協会理事、監事、および評議員各候補に関する件  
③財日本ゴルフ協会、平成16年度事業報告、および決算報告、ならびに平成17年度年度事業計画、および予算に関する件

④平成17年度関東ゴルフ連盟主催競技日程の件  
事務局より関東ジュニア選手権も含めた日程表の説明を行なった。また、新JGAハンディキャップ規定によるハンディキャップ制限についての具体的な対応は、今後開催する競技正副委員長会議で決定する旨報告がなされた。

⑤財日本ゴルフ協会個人会員入会審査の件  
1月20日現在入会申請のあった19名について、これを承認し、財日本ゴルフ協会に名簿を提出したい旨の提案がなされ承認された。

⑥後援競技の件  
1月20日現在後援申請のある下記競技の後援、及び前年度実施の1競技の追加後援を承認した。

平成16年度  
「第23回日刊アマ・関東ダブルスゴルフ選手権」  
主 催：日刊スポーツ事業㈱  
平成17年度  
「2005神奈川県アマチュアゴルフ

選手権大会」  
主 催：神奈川県ゴルフ協会  
「第24回茨城県社会人アマチュアゴルフ選手権大会」  
主 催：茨城新聞社  
「第5回茨城県社会人女子アマチュアゴルフ選手権大会」  
主 催：茨城新聞社  
「第2回茨城県社会人シニアアマチュアゴルフ選手権大会」  
主 催：茨城新聞社  
「2005年度（第38回）日本女子オープンゴルフ選手権競技」  
主 催：財日本ゴルフ協会  
「2005年度（第15回）日本シニアオープンゴルフ選手権競技」  
主 催：財日本ゴルフ協会

全議事終了後、吉田議長13時10分閉会を宣した。

平成17年1月20日  
議事録確認署名者  
議長 吉田 友明 (印)  
署名者 塚原 裕 (印)  
署名者 尾閑 秀夫 (印)

## 平成17年度 第1回理事会議事録

日 時 平成17年2月22日 (火)  
午後12時30分

場 所 ホテルニューオータニ 鳳の間  
出席者 吉田理事長、  
相澤、安藤、伊藤、福川、  
井上、岩宮、牛込、海老原、  
遠藤、大原、尾閑、大鷲、  
古賀、小宮山、齊藤、  
佐々木、佐藤、篠崎、下条、  
高橋、竹田、田村、塚原、

# 総会・理事会・分科委員会

塚本、富田、南学、難波、  
貫井、野口、萩原、林、平岩、  
平山、広中、廣輔、福田、  
堀内、前川、牧野、村上、  
村山、森川、渡邊各理事  
廣瀬監事

鈴木昭満  
●コース選定部会  
野口正三  
●ハンディキャップ委員会  
富田浩安  
●コース・レート委員会  
大原慎二  
●月例競技委員会  
中野弘治  
●ジュニア育成委員会  
大鷲俊朗  
●広報委員会  
高橋正孝  
●税対策委員会  
伊室一義  
●グリーン委員会  
平山誠一  
●体協部会体協委員会  
齊藤文志郎

### —討議 及び 決議事項—

①平成17、18年度、副理事長、常務理事選任の件  
選任方法については、理事長一任となり、次の諸氏が指名され選任された。

●副理事長  
小宮山義孝、竹田恆正  
●常務理事  
赤羽 功、福川廣政、岩宮 浩、  
大原慎二、齊藤文志郎、  
篠崎勝宏、高橋正孝、塚原 裕、  
南学正昭、野口正三、萩原 刑、  
広中三男、森川幸美、渡邊満之助

③平成17年度分科委員選任の件  
選任方法については、理事長より理事会終了後に開催される委員長会議に一任されたき旨の提案がなされ、承認された。

④財日本ゴルフ協会、平成17年度分科委員候補選任の件  
選任方法については、理事長より、正副理事長に一任されたき旨の提案があり、承認された。

②平成17、18年度分科委員長選任の件  
選任方法については、理事長一任となり、次の諸氏が指名され選任された。

●総務委員会  
小宮山義孝  
●カード部会  
高橋正孝  
●競技委員会  
野口正三  
●規則部会

⑤平成17年度関東俱楽部対抗競技の件  
議長の指名により、野口競技委員長より次の提案があり、承認された。  
「2月14日に綺切られた同競技千葉県地区の申し込みが61俱楽部となった。規定では1都県で60俱楽部を超えた場合は、原則として3地区での開催となる。これにつき千葉県の意向を

# 総会・理事会・分科委員会

確認したところ、「今まで2地区を前提で準備していた関係上、17年度については2地区開催、18年度以降については再検討したい」とのことであった。については、千葉県の意向を尊重し、平成17年度関東俱楽部対抗千葉県予選については2地区開催を提案する。」

## ⑥加盟審査の件

2件が審議され承認された。

(1)準会員より正会員への移行加盟申請  
アバイディングクラブゴルフソサエティ（千葉県）（推薦発言 渡邊常務理事）

(2)正会員加盟申請  
ホワイトバーチカントリークラブ（茨城県）（推薦発言 平山理事）

## ⑦財日本ゴルフ協会・個人会員入会審査の件

2月22日現在、申請のあった20名について、これを承認し、財日本ゴルフ協会に書類を提出したい旨の提案があり、承認された。

## ⑧その他

### ①後援競技について

以下の10件の後援を承認した。

- 「平成17年東日本パブリックアマチュアゴルフ選手権競技」
- 「平成17年東日本女子パブリックアマチュアゴルフ選手権競技」
- 「平成17年東日本シニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技」
- 「平成17年東日本女子シニアアマチュアゴルフ選手権競技」
- 「平成17年東日本ミッドシニアアマチュアゴルフ選手権競技」

## 平成17年度 第1回 競技委員会議事録

日 時 平成17年3月2日(木)午後2時  
場 所 九段会館・鳳凰の間  
出席者 吉田理事長  
野口委員長  
加藤、竹下、田中、平山各副委員長

パブリックアマチュアゴルフ選手権競技」  
●「日刊アマゴルフ2005全日本シングルプレイヤーズゴルフ選手権（第32回東日本大会）」  
●「第12回山梨県ゴルフ場支配人会ジュニア教室」  
●「第2回埼玉県ジュニア（小・中学生）ゴルフ競技大会」  
●「第9回群馬県ジュニアゴルフ・レッスン＆競技大会」  
●「第1回千葉県ゴルフ協会ジュニア大会」  
(2)議場よりの発言  
新潟県 斎藤常務理事より 新潟県中越地震見舞金贈呈につき、感謝の意が表明された。  
ジュニア育成について、遠藤理事、大鷲ジュニア委員長、前川理事より発言がなされた。

### —討議および決議事項—

討議に先立ち、吉田理事長より以下のとおり挨拶がなされた。  
「理事長就任後の過去2年間にわたる競技委員会の活動には頭が下がる思いであった。新体制となる今年度からは野口新委員長の下、伝統あるKGAの委員として、立派に責務を果たしていただけると思っている。委員諸氏の活躍に期待をする。」

### ①本年度活動方針

事務局より野口正三新委員長が紹介され、野口新委員長より就任の挨拶がなされた後、次記活動方針が述べられた。  
「関東ゴルフ連盟の競技委員会は全国の模範となり、他地区を引っ張つていかなければならぬ立場にある。そのためには、委員一人一人が自覚と自信、そして誇りを持つこと。競技委員は公平で公正な競技ができる

よう、常に競技者と同じ立場にたって競技者を助け、一体感を持つこと。競技者に信頼される知識の習得を心がけ、競技委員に選ばれたというプライドを常に持ち続けることが大事である。」

### 活動方針

- ①委員の同一認識による班ごとの競技運営、連携の強化と女性委員の活性化
- ②競技の効率的で正しい運営の徹底
- ③規則、競技運営の研修
- ④「やりがいある委員会」の構築  
これら活動方針の軸として地域ごとに分かれた3班体制を復活させ、また女性委員の活性化を図るために、女性班が設けられた。必要に応じて各班主催による研修会等を行なう。

### ②新任委員紹介

市橋事務局長より、去る2/22の関東ゴルフ連盟通常総会後に開催された委員長会議において委員が選任されたことの説明がなされ、新任委員の紹介がなされた。

### 新任委員

- 平山 誠一（江戸崎）
- 岡崎 光伸（東千葉）
- 斎藤 武夫（メイブルポイント）
- 鶴田万里子（長野）
- 菅 真知（我孫子）
- 鈴木 陸郎（筑波）
- 竹村 孝（春日居）
- 内藤 正幸（桜ヶ丘）
- 松本 雄（武藏）
- 矢野 隆男（富士小山）
- 横田 藤男（多摩）

都県アマチュアゴルフ団体新任委員

- 齐藤 進（群馬県）
- 藤生 正男（栃木県）
- 平本 桂樹（東京都）
- 白井 旭（神奈川県）

### ③副委員長、副班長選任について

野口委員長より、副委員長、副班長として次回の諸氏が指名委嘱された。活動方針でも述べられたとおり、委員を地域ごとの3班に分け、それぞれの班に副委員長（班長）および副班長を置く。

### ●1班

副委員長 平山 誠一（江戸崎）  
副班長 渡辺 一章（袖ヶ浦）

### ●2班

副委員長 田中 克幸（嵐山）  
副班長 豊泉 幸夫（狭山）

### ●3班

副委員長 竹下 修一（相模）  
副班長 吉野 統治（戸塚）

### ●女性班

副委員長 加藤 勝栄（相模原）  
副班長 岩田 淳子（横浜）

### ④主催競技競技規定について

市橋事務局長より、配布資料を基に、今年度前期競技の競技規定について説明がなされた。また、申込み方法について、昨年度より実施している希望先着順をより明確にするため、今年度よりファクスでの申込み受付を開始した。配布資料をもとに、その方法について説明がなされ、全委員確認をした。

### ⑤ローカルルール原案、競技管理基準について

野口委員長より、配布資料を基に、今年度版のローカルルール原案、競

技管理基準について詳細な説明がなされた。競技管理基準については、新たに「競技用コースセッティングマニュアル」と「競技運営マニュアル」が製作され、全委員確認をした。

### ⑥各競技担当委員長、副委員長、及び委員選任について

各班に分かれて行なうが、時間を要するため、全議題終了後に行なうこととした。

### ⑦平成18年度以降のKGA主催競技開催方式について

野口委員長より説明がなされた。

### ●関東アマ

今年度は従来方式の開催方法とする。常務理事会、理事会に於いて、準決勝の設定につき、競技委員会で検討すべきとされているので、今後これにつき検討をして行く。

### ●関東俱楽部対抗

千葉県の参加俱楽部数が規定の枠を超えたため、会場数を増やすか否かについて、千葉県の判断にゆだねることにした。

### ●関東アンダーハンディキャップ

昨年10回目を開催したことに加え、JGAハンディキャップ規定の改正もなされたので開催方式について、検討中である。

### ⑧競技委員会製作品について

市橋事務局長より、新しい製作品について説明がなされ、全委員確認をした。

# 総会・理事会・分科委員会

## ⑨その他

すべての議題が終了したので、保留としてあった議題⑩について、各班に分かれて担当委員長、副委員長、委員の決定、打ち合わせ日の決定がなされた。

## 平成17年度 第1回 コース・レート委員会議事録

日 時 平成17年3月17日（木）

午後2時

場 所 九段会館・珊瑚の間

出席者 大原委員長

岡田、松岡各副委員長

生田、大久保、王月、岡田、

荻島、金子、神津、小林、

阪田、佐久間、白井、中川、

中野、中部、平本、森、矢嶋、

渡辺各委員

### —討議および決議事項—

大原委員長、所用のため岡田副委員長の代行により、下記議題を順次上程議事に入った。

①新任委員紹介、副委員長選任について  
市橋事務局長より、去る2/22の関東ゴルフ連盟通常総会後に開催された委員長会議において委員が選任されたことの説明がなされ、新任委員ならびに全委員の紹介がなされた。

### 新任委員

●岡橋 早里（相模）  
引き続いて岡田副委員長より、事前に行なわれた正副委員長会議において、大久保委員が新たに副委員長として加わることが決定された旨報告がなされ、全委員確認をした。

## 副委員長

- 大久保 蕃（桜ヶ丘）
- 岡田 光正（嵐山）
- 松岡 和歳（東京よみうり）

## ②査定数値決定について

事務局より、配布資料を基に説明がなされ、全委員確認をした。査定倂業部は以下のとおり。

### ●女子机上査定

紫雲ゴルフ倂業部

猿島カントリー倂業部

埼玉国際ゴルフ倂業部

飯能ゴルフクラブ

オールドオーチャードゴルフクラブ

### ③査定スケジュールについて

配布資料に基づき、順次日程を決定した。

### 新規査定

- 初穂カントリークラブ  
4月25日（月）
- ホワイトバーチカントリークラブ  
4月5日（火）
- オークビレッジゴルフクラブ  
7月21日（木）

### 15年再査定

- 新潟サンライズゴルフコース  
4月19日（火）
- メイ・レイクヒルズカントリークラブ  
7月15日（金）
- 大平台カントリークラブ  
6月7日（火）
- ダイヤグリーン倂業部  
4月22日（金）

### ●鴻巣カントリークラブ 9月12日（月）

### ●高坂カントリークラブ 6月13日（月）

- 千葉カントリークラブ・梅郷ゴルフ倂業部  
6月1日（水）
- 鳳琳カントリー倂業部  
4月11日（月）
- 厚木国際カントリー倂業部  
7月5日（火）
- 葉山国際カントリー倂業部・エマラルド  
8月29日（月）
- 葉山国際カントリー倂業部・ダイヤモンド  
9月5日（月）
- 浜松シーサイドゴルフクラブ  
6月3日（金）
- 箱根カントリー倂業部  
5月13日（金）

## ス 6月1日（水）

- 鳳琳カントリー倂業部  
4月11日（月）
- 厚木国際カントリー倂業部  
7月5日（火）
- 葉山国際カントリー倂業部・エマラルド  
8月29日（月）
- 葉山国際カントリー倂業部・ダイヤモンド  
9月5日（月）

## 査定倂業部は以下のとおり。

### ●女子机上査定

猿島カントリー倂業部

飯能ゴルフクラブ

オールドオーチャードゴルフクラブ

改造査定

箱根カントリー倂業部

5月13日（金）

## ④今年度活動方針

大原委員長より、今年度活動方針が示された。

「今年度は15年再査定の増加が予想されるため、委員諸氏には一層のご尽力をいただかく、一部の委員の負担にならないよう、調整を行なっていきたい。15年再査定は従来の1組4名から、2組最大8名の査定に増員する。女子委員も機会が増えると思うので、なるべく多く出席して研鑽を重ねていただきたい。

また、今年度からJGAハンディキャップ規定が変更され、諸問題を残している現状である。査定の際、できるだけ多くコース側の声を聞いていただきたい。それらの意見をまとめ、JGAハンディキャップ委員会に上げていきたい。」

最後に市橋事務局長より、新しい製作品について説明がなされ、全委員確認をした。尚、4月の査定が多いため、4月中か5月中に第2回委員会を開催することを確認した。

# 総会・理事会・分科委員会

## 平成16年度 第9回 月例競技委員会議事録

日 時：平成16年11月26日（金）

16:00～

場 所：ゴルフ倂業部成田ハイツリー

出席者：中野委員長

小室、副委員長

加藤、小坂、桜井、嶋田、星野、山崎、渡辺各委員

### — 討議及び決議事項 —

## ①11月度月例競技報告及び総括

小室副委員長より、下記の報告及び総括がなされた。

「絶好のゴルフ日和であったが、ホールロケーションによってスコアを崩す選手が多かった。女子には多少距離の長いホールがあったためスコアはやや低調であった。男子はもう少し好スコアが出ると思われたが優勝スコアの70ストロークは少し足りないと思う。日本ミッドアマ選手権が終わったばかりのため選手に疲労が残っていて精彩がなかったのではないか。」

エントリー数他は以下のとおり

開 催 日 平成16年11月22日（月）  
コ ー ス 茨城ゴルフ倂業部  
西コース

エントリー 147名  
(男子106名 女子41名)

欠場者 数 事前連絡5名  
(男子5名)

当日連絡2名  
(男子2名)

無断欠席2名  
(男子1名、女子1名)

出場者 数 138名  
(男子98名 女子40名)

科 論 者 0名

ミーティング欠席 1名（男子1名）

失 格 者 1名（男子1名）

棄 権 者 0名

次回プレーオフ

《女子》77ストローク

神津成美、山本美恵子

12:00～

場 所：関東ゴルフ連盟事務局会議室

出席者：中野委員長

小室、平山両副委員長

加藤、小坂、桜井、嶋田、星野、山崎、渡辺各委員

### — 討議及び決議事項 —

## ②12月度月例競技について

12月度月例競技は鷹之台カントリー倂業部にて開催されるが、コースセッティングは小室副委員長および小坂委員に一任することを確認した。

## ③その他

### (1)無断欠場者について

今回2名の無断欠場者がいたが、2名とも競技日を11月25日と間違えていたとのことであった。これは今年度競技日程を発表したときに、一度11月25日と発表し、その後11月22日に変更したことによるものと思われる。このことを考慮し、通常は規定により7回出場停止とするが、今回に限り期間を短縮し4回出場停止とすることとした。

### (2)来年度競技日程について

平成17年度競技日程について、各担当委員より各倂業部との交渉状況の報告がなされた。

### (3)次回委員会開催日について

次回委員会は12月20日（月）正午より関東ゴルフ連盟事務局会議室にて行うこととなった。

事前連絡3名  
(男子3名)

当日連絡2名  
(男子2名)

無断欠席0名

出場者 数 119名  
(男子80名 女子39名)

科 論 者 3名  
(男子2名 女子1名)

ミーティング欠席 0名

失 格 者 0名

棄 権 者 0名

次回プレーオフ

11月度女子プレーオフが決着付

## 平成16年度 第10回 月例競技委員会議事録

日 時：平成16年12月20日（月）

# 総会・理事会・分科委員会

かず来月再ブレーオフ

## ②1月度月例競技について

1月度月例競技は袖ヶ浦カンツリークラブ・袖ヶ浦コースにて開催されるが、コースセッティングは中野委員長、山崎委員および渡辺委員に一任することを確認した。

## ③その他

(1)JGA HDCP規定変更にともなう競技規定変更について  
平成17年1月1日よりJGA HDCP規定が変更となるが、それにともなう競技規定の変更が事務局より提案され、全委員これを了承した。

(2)来年度競技日程について  
平成17年度競技日程がすべて決定し、事務局より締切日および各担当委員が発表された。

(3)次回委員会開催日について  
次回委員会は1月26日（水）正午より関東ゴルフ連盟事務局会議室にて行うこととなった。

## 平成16年度 第11回 月例競技委員会議事録

日 時 平成17年1月26日（水）

12:00～

場 所 関東ゴルフ連盟事務局会議室

出席者 中野委員長

小室、阪田、平山各副委員長

加藤、河本、小坂、鷗田、

額賀、星野、山崎、

渡辺各委員

学生連盟委員

## — 討議及び決議事項 —

### 平成16年度 第11回 月例競技委員会議事録

日 時 平成17年1月26日（水）

12:00～

場 所 関東ゴルフ連盟事務局会議室

出席者 中野委員長

小室、阪田、平山各副委員長

加藤、河本、小坂、鷗田、

額賀、星野、山崎、

渡辺各委員

学生連盟委員

## — 討議及び決議事項 —

## ①1月度月例競技報告及び総括

平山副委員長より、下記の報告及び総括がなされた。

「天候は良かったが一日中北風が強かったため難しいコンディションだった。改造されたペント本グリーンで行われたため女子には距離が長く、スコアマークに苦労しているようであった。また、男子も強風のためショットを乱す選手が多く、好スコアは出にくいコンディションであった。グリーンの状態は1月の開催としては大変素晴らしいものであった。」

エントリー数は以下のとおり  
開催日 平成17年1月21日(金)  
コース 袖ヶ浦カンツリークラブ・袖ヶ浦コース

エントリー 144名  
(男子100名 女子44名)+  
キャンセル待ち4名

欠場者数 事前連絡6名  
(男子4名、女子2名)  
当日連絡0名

無断欠席0名  
出場者数 142名  
(男子98名 女子44名)

科罰者 0名  
ミーティング欠席 1名 (男子1名)

失格者 0名  
棄権者 0名

次回ブレーオフ  
《男子》73ストローク

宇佐美祐樹、佐藤和夫

## ②2月度月例競技について

2月度月例競技はゴルフ俱楽部成田

ハイツリーにて開催されるが、コースセッティングは中野委員長、小室副委員長および渡辺委員に一任することを確認した。

## ③その他

(1)関東アマチュア選手権へのシード枠について

平成18年度より関東アマチュア選手権の開催方式が変更される（二次予選を実施）ことに伴い、主催である競技委員会より月例競技からのシード枠の見直し案が提案された。具体的な内容は

- ①決勝シード10名（現行は30名）
- ②二次予選シード20名
- ③月例競技からのシード選手は他のカテゴリーによるシード選手との重複者を除く

であった。これに対して月例委員会としての要望が協議され競技委員会に提案することとなった。具体的な内容は以下の通り。

(i)決勝シードの項目に「各都県アマチュア選手権優勝者11名」というカテゴリーがあるが、それに比べると月例上位者10名というものは納得ができない。また、(月例からの)決勝シード選手の減少は月例競技参加者の減少につながることが予想される。月例競技は、ゴルフの技術のみならずエチケット、マナーの指導も併せてを行い、模範的アマチュアゴルファーを育成していく競技であるので参加者の減少は好ましくない。また、大幅な参加者減となった場合は月例競技の存続が不可能になりかねない。したがって決勝シードは現行どおり30名とし、増加分20名については決勝参加者の総人数（原案では144名）を増やすことで対応してほしい（現行どおり

# 総会・理事会・分科委員会

160名程度）。

(ii)月例競技をより魅力ある競技とし参加者増を図るため、二次予選シードを30名としたい。

④4月度競技より次年度となるため、4月度競技申込みが開始される3月度競技日（3月11日）までに決定したい。

(2)来年度委員編成について

中野委員長より小倉委員の退任が発表され、全委員これを了承した。

(3)次回委員会開催日について

次回委員会は2月24日（木）正午より関東ゴルフ連盟事務局会議室にて行うこととなった。

## 平成17年度 第1回 月例競技委員会議事録

日 時 平成17年2月24日（木）

12:00～

場 所 関東ゴルフ連盟事務局会議室

出席者 竹田副理事長

中野委員長

小室、阪田各副委員長

加藤、河本、神津、小坂、

桜井、額賀、渡辺各委員

学生連盟委員

## — 討議及び決議事項 —

## ①2月度月例競技報告及び総括

阪田副委員長より、下記の報告及び総括がなされた。

「2月にしてはめずらしく好天微風の絶好のコンディションで開催された。男子の優勝スコアが72ストロークで、80ストロークまでポイントが付くという結果であったが、冬場というこ

ととグリーンに大きなアンジュレーションがあり難しい状態であったと思う。また、参加人数が男女とも少なかった。」

エントリー数は以下のとおり

開催日 平成17年2月15日(火)

コース ゴルフ俱楽部成田

ハイツリー

エントリー 96名

(男子65名 女子31名)

欠場者数 事前連絡4名

(男子2名、女子2名)

当日連絡0名

無断欠席0名

出場者数 92名

(男子63名 女子29名)

科罰者 1名 (男子1名)

ミーティング欠席 1名 (男子1名)

失格者 0名

棄権者 1名 (男子1名)

次回ブレーオフ

《男子》72ストローク

館 英樹、佐藤和夫

《女子》78ストローク

青木敬子、金子弥生

## ②3月度月例競技について

3月度月例競技は相模原ゴルフクラブ・西コースにて開催されるが、コースセッティングは中野委員長、小室副委員長および河本委員に一任することを確認した。

## ③その他

(1)今年度委員編成について

中野委員長より今年度委員編成が発表され、全委員これを了承した。昨年度よりの変更点は以下の通り。

新任委員

●高橋佑吉（東松山）

退任委員

●小倉 正（相模）

副委員長就任

●嶋田憲人（青梅）

委員就任

●平山誠一（江戸崎）

(2)今年度活動方針について

中野委員長より下記の今年度活動方針が発表された。

「関東アマの開催方式の変更に伴い、今年度月例競技はさまざまな変更が行われることとなる。また参加者増加も予想されるため委員の方々にはご苦労をお掛けすることとなるが、今までと同様に月例競技発展のためにご尽力いただきたい。各委員は選手に対し厳しさの中にも信頼され、愛されるよう活動啓蒙に尽力していただきたい。」

(3)男女アマチュア選手権決勝会場での月例競技開催について

2月度競技は参加者数が少なかつたが、これは3月度の会場（相模原ゴルフクラブ・西コース）が関東女子ゴルフ選手権決勝競技会場となっているため、女子選手が2月度の出場を敬遠したことが予想される。また、2月は時期的に参加者が減少傾向である。

したがって、例年3月に行われている関東女子ゴルフ選手権決勝競技会場での月例競技開催を来年度より2月開催とし、毎月の参加者数の平均化を図ることとした。

(4)申込方法等の変更について

関東アマ、関東女子選手権など関東ゴルフ連盟競技委員会主催競技は今年度よりファクスでの申込みを開始しているが、月例競技だけ

# 総会・理事会・分科委員会

郵送申込みとなると競技ごとの申し込み方法が複雑となり申込者（選手の所属俱楽部）が混乱することが予想される。そのため、17年度4月例より月例競技もファクス受付を開始し、関東ゴルフ連盟主催全競技で申込み方法を統一することとした（ただし、俱楽部対抗、関東ジュニアは除く）。

(5)次回委員会開催日について  
次回委員会は3月22日（火）正午より関東ゴルフ連盟事務局会議室にて行うこととなった。

## 平成17年度 第2回 月例競技委員会議事録

日 時 平成17年3月22日（火）  
12:00～  
場 所 関東ゴルフ連盟事務局会議室  
出席者 中野委員長  
小室、阪田、鷗田各副委員長  
加藤、河本、神津、高橋、  
額賀、平山、山崎、  
渡辺各委員  
学生連盟委員

### — 討議及び決議事項 —

①3月度月例競技報告及び総括  
鷗田副委員長より、下記の報告及び総括がなされた。  
「前日までスティンプメーターで11フィートの高速グリーンに仕上がっていたが、競技日は雨のためスピード、コンパクション共低下し、最高のコンディションとなった。数10年振りの西コースでの開催で選手はレイアウトの難しさを感じているようであった。コース整備、運営への俱

樂部側の配慮に感謝申し上げたい。」  
エントリー数他は以下のとおり  
開 催 日 平成17年3月11日（金）  
コ ー ス 相模原ゴルフクラブ  
西コース  
エントリー 134名  
(男子72名 女子62名)  
欠 場 者 数 事前連絡10名  
(男子6名、女子4名)  
当日連絡1名（男子1名）  
無断欠席0名  
出場者数 123名  
(男子65名 女子58名)  
科 評 者 0名  
ミーティング欠席 0名  
失 格 者 1名（女子1名）  
棄 権 者 0名  
次回プレーオフ なし

また、年間最高得点者は  
男子：宇佐美祐樹（鷗）  
192ポイント  
女子：南雲真理（岡部チサン）  
118ポイント  
エントリー数他は以下のとおり  
開 催 日 平成17年4月8日（金）  
コ ー ス 成田ゴルフ俱楽部  
エントリー 163名  
(男子133名 女子30名)  
欠 場 者 数 事前連絡6名  
(男子4名、女子2名)  
当日連絡1名  
(女子1名)  
無断欠席0名  
出場者数 156名  
(男子129名 女子27名)  
科 評 者 0名  
失 格 者 0名  
棄 権 者 1名（男子1名）  
次回プレーオフ なし

## 平成17年度 第3回 月例競技委員会議事録

日 時 平成17年4月22日（金）  
12:00～  
場 所 関東ゴルフ連盟事務局会議室  
出席者 中野委員長  
小室、阪田、鷗田各副委員長  
加藤、河本、神津、小坂、  
高橋、平山、渡辺各委員

### ③その他

(1)関東女子決勝、関東アマ決勝のシード選手及び年間最高得点者の決定について

3月度競技をもって平成16年度月例競技がすべて終了し、その結果総合ポイント上位者が関東アマ決勝および関東女子決勝のシード選手として確定した。

男子は、50ポイント  
30位タイまでの31名  
女子は、60ポイント  
10位までの10名  
となり、全委員これを確認した。

# 総会・理事会・分科委員会

が一人では寂しいかぎりであった。  
もう少しレベルを上げないと月例競技を行いう意義がなくなると思われる。」  
エントリー数他は以下のとおり

開 催 日 平成17年4月8日（金）  
コ ー ス 成田ゴルフ俱楽部  
エントリー 163名  
(男子133名 女子30名)  
欠 場 者 数 事前連絡6名  
(男子4名、女子2名)  
当日連絡1名  
(女子1名)  
無断欠席0名  
出場者数 156名  
(男子129名 女子27名)  
科 評 者 0名  
失 格 者 0名  
棄 権 者 1名（男子1名）  
次回プレーオフ なし

### ②4月度月例競技について

4月度月例競技は成田ゴルフ俱楽部にて開催されるが、コースセッティングは中野委員長、小室副委員長および鷗田副委員長に一任することを確認した。

### ③その他

(1)ミーティング無断欠席者について

4月度競技においてミーティング無断欠席者が1名（男子1名）おり、欠席理由の提出を求めたところ、本人より「同伴した実兄の具合が悪くなり、急遽病院に連れて行かなければならず、ミーティング欠席を申し出る余裕がなかった」との回答（実兄の診断書を添付）があった。

この情状を酌量し、出場停止は通常通り3回とするが、俱楽部宛警

告書は取り下すこととした。  
(2)スプリング効果が基準値を超えるクラブ（いわゆる高反発クラブ）について

2006年度より日本ゴルフ協会主催競技では使用できなくなることを踏まえ、月例競技でも2006年度よりドライビングクラブを規制する競技の条件を制定する必要があるのではないかとの意見が出された。しかしながら競技委員会ではこの件についての見解が決まっておらず、月例委員会では競技委員会の決定を受け、次回委員会で再度検討することとした。

(3)月例競技の年度について  
月例競技の年度は4月から翌年3月までとなっているが、ゴルフ規則改正時期やシード選手の決定等、翌年にまたがると不都合な点があるので、1月から12月までを本競技の年度とすることとした。従って本年度は変則的に4月から12月までとすることとした。

(4)次回委員会開催日について

次回委員会は6月3日（金）正午より関東ゴルフ連盟事務局会議室にて行うこととなった。

## 平成17年度 関東ゴルフ連盟 第1回 広報委員会議事録

日 時 平成17年3月23日（水）  
午後3時30分

場 所 KGA会議室  
出席者 高橋委員長  
伊室副委員長  
片山、杉山、塚越、西澤、  
西田、舟橋、増田、

森口各委員

### — 討議及び決議事項 —

#### ①平成17年度活動方針

高橋委員長より次記の事項につき方針が述べられた。  
(1)「KGAニュース」の編集内容は、本年度関東ゴルフ連盟の活動方針  
(①競技の活性化②JGAハンディキャップ制度の普及③ジュニアゴルファーの育成)に沿ったものとする。新たに都県のゴルフ振興活動につきインタビュー形式のものを加える。

(2)ホームページの一部更新を行う。  
(3)競技情報はホームページとファックスサービスで提供する。

#### ②KGAニュースNo.87秋冬号総括

前々号の記事に対し無記名の投書があり、無記名では取り上げられないとの委員会決定をしたが、再度無記名の論旨のはっきりしない投書があったため、次号編集後記にて記名を促す記事を載せることとした。

#### ③KGAニュースNo.88企画案

総会取材を中心とする他、都県の活動シリーズをインタビュー形式で掲載することを決めた。

#### ④報告事項

KGAニュース配布数と内容に関する要望のアンケートを回収し結果報告をした。今後の対応につき早急に方針を決めることとした。  
JGA広報委員会が廃止された経過の報告が行われた。  
以上の審議と報告を終了し午後5時閉会した。

# 総会・理事会・分科委員会

イフタビュー/要口正三 総務委員長

## 平成17年度 第1回 税対策委員会議事録

日 時 平成17年3月23日(水)  
午後1時半～3時

場 所 KGA会議室

出席者 伊室委員長

玉置副委員長

井上裕之、井上幸久、加藤、  
平林、松本、各委員

定刻、伊室委員長開会を宣し、順次議題討議に入った。

### 討議及び決議事項

#### ①平成17年度活動方針

②ゴルフ場利用税撤廃運動について

運動の成果があり、一部非課税措置が施行された。今後は、消費税率引き上げ時に撤廃せざるべく、ゴルフ団体全体で活動を始めなければならない。

#### ③地方税について

地方税法が改定され自由税になると、各都県単位で新たな税（環境税等）が課せられる可能性がある。また、ゴルフ場利用税が一部非課税になったことで、税収が減っている。全廃になればやはり新たな地方税を課してくる可能性がある。

#### ④固定資産税について

市町村ごとに取扱いが違うが、評価額そのものが高いこと、評価

額が下がっても調整係数が上がり、納税額が減らない状況がある。今後も総務省へゴルフ場の実態を訴えつつ、働きかけをすすめていく。

#### ⑤外形標準課税について

平成17年4月1日より、資本金1億円超の企業に課税される。以上の点を行政側に交渉をする際、ゴルフをすることによる健康増進、地震等災害時のゴルフ場の避難場所への提供という面からアプローチしてはどうかとの意見が出された。

### 討議及び決議事項

#### ①平成17年度活動方針

市町村ごとに取扱いが違うが、評価額そのものが高いこと、評価

14時30分、すべての議事を終了。伊室委員長閉会を宣した。

## KGAニュースに関する発行部数等アンケート回答結果

アンケート対象 KGA加盟倶楽部・体協会員等529件のうち226件から下記の回答がありました。ご協力ありがとうございました。

#### Q.1配布部数50部は充分ですか？

回 答	倶楽部数	希望部数	倶楽部数
多すぎる	127	5部	1
		10部	3
		15部	2
		20部	53
		25部	1
		30部	66
		40部	1
充分である	133		
少ない	6	60部	4
		100部	1
		150部	1

#### Q.2どのように配布されていますか？

回 答	倶楽部数
ゴルフ場のフロントに置き自由に取ってもらう	195
役員、委員のみに配布している	27
その他	4

#### Q.4年間3回の発行回数について

回 答	倶楽部数
年会4回の方がよい	9
現行でよい	195
2回以下でよい	22

## 月例競技成績表

[平成16年度11月月例] 平成16年11月22日(月) 茨城ゴルフ倶楽部・西コース

男子	ランク	スコア	氏 名	俱 楽 部
1	70	杵 稔	謙二	ノースショア
2	71	松田 永基	清 川	ノースショア
2	71	亀井 美博	オークヒルズ	ノースショア
5	73	村田 達勇	扶 桑	オークヒルズ
5	73	日暮 俊明	鷹	扶 桑
5	73	宇佐美祐樹	袖 ケ 浦	扶 桑
5	73	柳澤 信吾	オリミック	袖 ケ 浦
		佐藤 尚		オリミック

女子	ランク	スコア	氏 名	俱 楽 部
1	77	神津 成美	下 野	セントラル
2	77	山本美恵子	新 千 葉	セントラル
3	78	篠塚 美幸	富 里	セントラル

※優勝はブレーオフによる

[平成16年度12月月例] 平成16年12月13日(月) 廣之台カンツリー倶楽部

男子	ランク	スコア	氏 名	俱 楽 部
1	72	亀井 美博	ノースショア	セントラル
2	73	丸山 聖	日本 大	セントラル
3	74	豊島 豊	東 千 葉	セントラル
4	75	東 幸司	東京 よみうり	セントラル
5	76	額賀 琴郎	船 橋	セントラル
5	76	宇佐美祐樹	鷹	セントラル
5	76	金子 光規	レインボー	セントラル

女子	ランク	スコア	氏 名	俱 楽 部
1	76	関根奈穂美	セントラル	セントラル
2	80	南雲 真理	岡部チサン	セントラル
2	80	岡橋 早里	相 模	セントラル

[平成16年度1月月例] 平成17年1月21日(金) 袖ヶ浦カントリークラブ・袖ヶ浦コース

男子	ランク	スコア	氏 名	俱 楽 部
1	73	佐藤 和夫	オリミック	セントラル
2	73	宇佐美祐樹	鷹	セントラル
3	74	金子 光規	レイパー	セントラル
4	75	高安 信行	セントラル	セントラル
5	76	谷口 英樹	セバ・ペレスロ	セントラル

女子	ランク	スコア	氏 名	俱 楽 部
1	79	青木 敬子	富士 箱根	セントラル
2	81	篠塚 美幸	富 里	セントラル
3	83	神津 成美	下 野	セントラル
3	83	関根奈穂美	セントラル	セントラル

※優勝はブレーオフによる

[平成16年度2月月例] 平成17年2月15日(火) ゴルフ倶楽部成田ハイツリー

男子	ランク	スコア	氏 名	俱 楽 部
1	72	館 茂樹	富士 笠間	東名厚木
2	72	佐藤 和夫	オリミック	セントラル
3	73	松田 永基	東名厚木	セントラル
3	73	柳澤 信吾	袖 ケ 浦	セントラル
5	74	日暮 俊明	扶 桑	セントラル

女子	ランク	スコア	氏 名	俱 楽 部
1	78	金子 弥生	東名厚木	セントラル
2	78	青木 敬子	富士 箱根	セントラル
3	82	松山奈津江	鹿 沼	セントラル
3	82	岡橋 早里	相 模	セントラル
3	82	渡辺 良子	相 模	セントラル

※優勝はブレーオフによる

[平成16年度3月月例] 平成17年3月11日(金) 相模原ゴルフクラブ・西コース

男子	ランク	スコア	氏 名	俱 楽 部
1	71	宇佐美祐樹	鷹	セントラル
2	73	金 浩延	都 賀	セントラル
2	73	高安 信行	セントラル	セントラル
4	74	豊島 豊	東 千 葉	セントラル
4	74	村上 哲弥	鷹	セントラル

女子	ランク	スコア	氏 名	俱 楽 部
1	78	岡橋 早里	相 模	セントラル
2	79	佐藤 彩香	小田原・松田	セントラル
3	81	青木 英子	千 葉	セントラル
3	81	矢島智都子	霞ヶ関	セントラル
3	81	鯉淵 裕沙	紫 塚	セントラル
3	81	関根奈穂美	セントラル	セントラル

[平成17年度4月月例] 平成17年4月8日(金) 成田ゴルフ倶楽部

男子	ランク	スコア	氏 名	俱 楽 部
1	72	神戸 誠	太田 双葉	セントラル
2	73	角田 浩導	東 名	セントラル
2	73	大槻 智春	千葉桜の里	セントラル
2	73	亀井 隆	唐 沢	セントラル
2	73	大田和桂介	新・フォレスター	セントラル
2	73	宮本 清	小 川	セントラル

女子	ランク	スコア	氏 名	俱 楽 部
1	78	篠塚 美幸	富 里	セントラル
2	80	南雲 真理	岡部チサン	セントラル
2	80	神津 成美	下 野	セントラル

## お知らせ

関東ゴルフ連盟「加盟俱楽部便覧」の変更事項は次記のとおりです。訂正加筆をお願い申し上げます。(4月28日現在)

俱楽部名	■本厚木カントリークラブ (新) 城里ゴルフ俱楽部 (旧) カントリークラブ・ザ・ウイングス 会社名 (新) ノザワワールド	■大利根カントリークラブ (新) 小島 啓示 (旧) 渡里杉一郎 (新) 谷口 一郎 (旧) 今井 正雄
支配人	■大浅間ゴルフクラブ (新) 渡辺 健二 (旧) 藤林 誠	■スプリングフィールズゴルフクラブ (新) 茨城県筑西市小栗6588
理事長	■成田カントリークラブ 会社名 (株)ダイナシティリゾート	■土浦カントリー俱楽部 (新) 茨城県福敷市堤之内419
	■(新) 房州カントリークラブ (旧) 房州カントリー俱楽部	■大宮国際カントリークラブ (訂正) 埼玉県さいたま市西区宝来910
	■霞ヶ関カントリー俱楽部 (新) 近藤 英雄	■藤ヶ谷カントリークラブ (新) 千葉県柏市泉2348
	■龍ヶ崎カントリー俱楽部 (新) 宮崎 徹夫 (旧) 酒井 健三	■富士箱根カントリークラブ (新) 〒410-2101 静岡県伊豆の国市
	■東京ゴルフ俱楽部 (新) 木内 昭胤 (旧) 近衛 通隆	奈古谷2225
	■ダイナシティゴルフ俱楽部 成田コース 不在	■ダイナシティゴルフ俱楽部 成田コース TEL 0478-79-1000
	■長竹カントリークラブ (新) 星野 稔 (旧) 樋口 銀一	■日本カントリークラブ (新) 佐藤 審男 (旧) 森本 忠善
	■本厚木カントリークラブ (新) 小島 啓示 (旧) 渡里杉一郎	■飯能グリーンカントリークラブ (新) 間庭 康智 (旧) 吉田 公子
俱楽部代表者	■不在	■東京都ゴルフ連盟 (新) 〒162-0056 東京都新宿区若松町 28-5 公和ゴルフセンター2F
	■大浅間ゴルフクラブ (新) 渡辺 健二 (旧) 藤林 誠	■相模湖カントリークラブ 佐藤祐一郎 (総支配人)
	■龍ヶ崎カントリー俱楽部 (新) 宮崎 徹夫 (旧) 酒井 健三	■京葉カントリー俱楽部 (新) 墨田区大平1-17-6
	■東京ゴルフ俱楽部 (新) 木内 昭胤 (旧) 近衛 通隆	電話番号、FAXは変更無し
	■(新) 竹田 恒正 (旧) 善勝 清治	所在地 (市町村合併により) 電話番号 FAX番号の変更はありません
	■京葉カントリー俱楽部 (新) 瀬波 貴之 (旧) 瀬波 賢司	HDCP
	■ダイナシティゴルフ俱楽部 成田コース (新) 今井 義徳 (旧) 吉田 銜	■十日町カントリークラブ (新) 新潟県十日町市伊達字反り掛甲2652-1 ○ → J-sys
	■東京五日市カントリー俱楽部 (新) 田中 功一 (旧) 相川 涉	■東千葉カントリー俱楽部 入会 (4月20日承認)
	■長竹カントリークラブ (新) 星野 稔 (旧) 樋口 銀一	■唐沢ゴルフ俱楽部 三好コース ■ゴールデンクロスカントリークラブ
	■(新) 茨城県水戸市杉崎町1916-1	■浅見カントリー俱楽部 退会
	■(新) 茨城県稲敷市東大沼402	■妙高サンシャインゴルフ俱楽部 ■アスレチックゴルフ俱楽部

### KGAニュース編集後記

広報委員長 高橋正孝

2月に再び無記名の意見書をいただいた。内容は広範囲にわたるもので、ゴルフ場経営問題からKGAの運営、競技さらにKGAニュースの編集方針にもふれている。

こうした意見を取り上げることにやぶさかではないが、提起する問題をしづり、記名で行なわれることが必要であり、これは委員会としての方針でもある。かつてジュニアのマナーを取り上げ意見記事とし、波及効果を生み出した実績もある。

平成17年6月1日発行 KGAニュース No.88  
発行所／関東ゴルフ連盟 東京都千代田区麹町2-12 CTS麹町ビル3F TEL.(03) 5275-0391 ホームページ <http://www.kga.gr.jp>  
発行人／吉田 友明 編集／広報委員会